4-414-629-**02** (2)

SONY

# ビデオ
# プロジェクター

取扱説明書

## VPL-VW1000ES

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

4K SXRD Silicon X-tal Reflective Display HDMI

4414629020

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**


**使い方相談窓口**

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

**修理相談窓口**

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

**FAX**（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

5 ～ 12 ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください(有料)。

## 故障したら使わない

すぐに、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ ソニーの相談窓口に連絡する。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号




### 行為を禁止する記号




### 行為を指示する記号

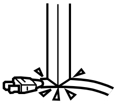


# 目次

**⚠警告** 火災 感電 下記の注意を守らないと、**火災や感電**により**死亡や大けが**につながることがあります。

## 電源コードを傷つけない

禁止



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

## 指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

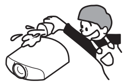
## 光源用ランプ交換は光源用ランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプ交換の際は、電源を切ってから 1 時間以上たって、充分に光源用ランプが冷えてから行ってください。

## 内部に水や異物を入れない

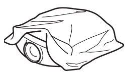
禁止



水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

## 排気口、吸気口をふさがない

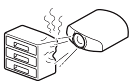
禁止



排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から 30 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。

## レンズの前に遮蔽物を置かない

禁止



投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。

## お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

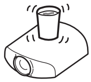
プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

## プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。



## 長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

## 幼児の手の届かない場所に置く

禁止

本体の高温部でやけどしたりする場合があります。
お子様がさわらないようにご注意願います。

## 床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

## 天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付け、移動は必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。
天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下し大けがの原因となります。必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は、取り付けを安全に行うために、必ず本機、およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

## 電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する

指示

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

## 安全アースを接続する

アース線を接続せよ

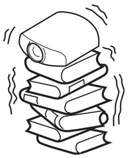
アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

## ⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

### 不安定な場所に設置しない



禁止

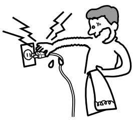


ぐらついた台や棚の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

### 水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

### 排気口付近に物を置かない



禁止

投影中は排気口付近が高温になるため、やけどや変形、事故の原因となります。

### レンズ調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

レンズ調整時やピクチャーポジション機能の使用時はレンズ付近に触れないでください。指を挟み、けがの原因になることがあります。

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止



火災や感電の原因となることがあります。

### スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない



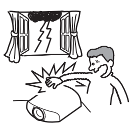
禁止

火災の原因となることがあります。

### 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

### 前脚部（調整可）調整時に指を挟まない


手を挟まれ
ないよう注意

前脚部調整は慎重に行ってください。前脚部に指を挟み、けがの原因になることがあります。

### レンズをのぞかない


禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

### 定期的に内部の掃除を依頼する


注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

### 排気口周辺には触れない


高温

排気口周辺は光源用ランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

## 光源用ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、次のような特性があります。

・衝撃や、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯となって寿命が尽きることがあります。
・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。
・交換時期を越えると、破裂、不点灯やチラつきの発生の可能性が高くなります。
「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたときには、光源用ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しい光源用ランプと交換してください。

警告
破裂　高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

## 光源用ランプ交換は光源用ランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプ交換の際は、電源を切ってから 1 時間以上たって、充分に光源用ランプが冷えてから行ってください。

注意
破裂

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

## 光源用ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

光源用ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内に破片が飛散している可能性があります。 **ソニーの相談窓口に光源用ランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。
ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。
速やかに医師にご相談ください。

## 光源用ランプを傾けて持たない

注意

光源用ランプを傾けて持つと、光源用ランプの破損時に光源用ランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持ってください。

## 使用済み光源用ランプを破棄する場合

注意

本機の光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済み光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

# 電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

**⚠警告**

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使用しない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

**⚠注意**

- 外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

**⚠注意**

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

### 3D メガネを廃棄するときのご注意

3D メガネに内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。

**警告**

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

# 3D メガネについての安全上のご注意

⚠危険

**火の中に入れない**

**分解しない**

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

**3D メガネを火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・充電・保管・放置しない**

**3D メガネの内部から液もれしたときは素手で触らない**

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入った時は、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

**付属以外の USB ケーブルを使わない**

充電するときは、必ず付属の USB ケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、加熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

**付属の USB 充電 AC アダプター以外での充電をしない**

⚠警告

**内部に水や異物を入れない**

本機は防水仕様ではありません。
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**本機を廃棄する場合は、一般ごみに混ぜて捨てない**

本機はリチウムイオン電池を内蔵していますので、ごみ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、液漏れ・破裂・発熱・発火などの危険があります。不要になった場合は、ソニーサービス窓口にご相談のうえ、リサイクルにご協力ください。

**安全上のご注意**

⚠注意

・付属の 3D メガネは本機専用です。本機で 3D 映像をご覧になる以外には 3D メガネを使用しないでください。テレビなどの他の機器にも使用しないでください。
・蛍光灯や LED 照明などを使用している部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くするか、消して視聴してください。このちらつきによって、非常にまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視

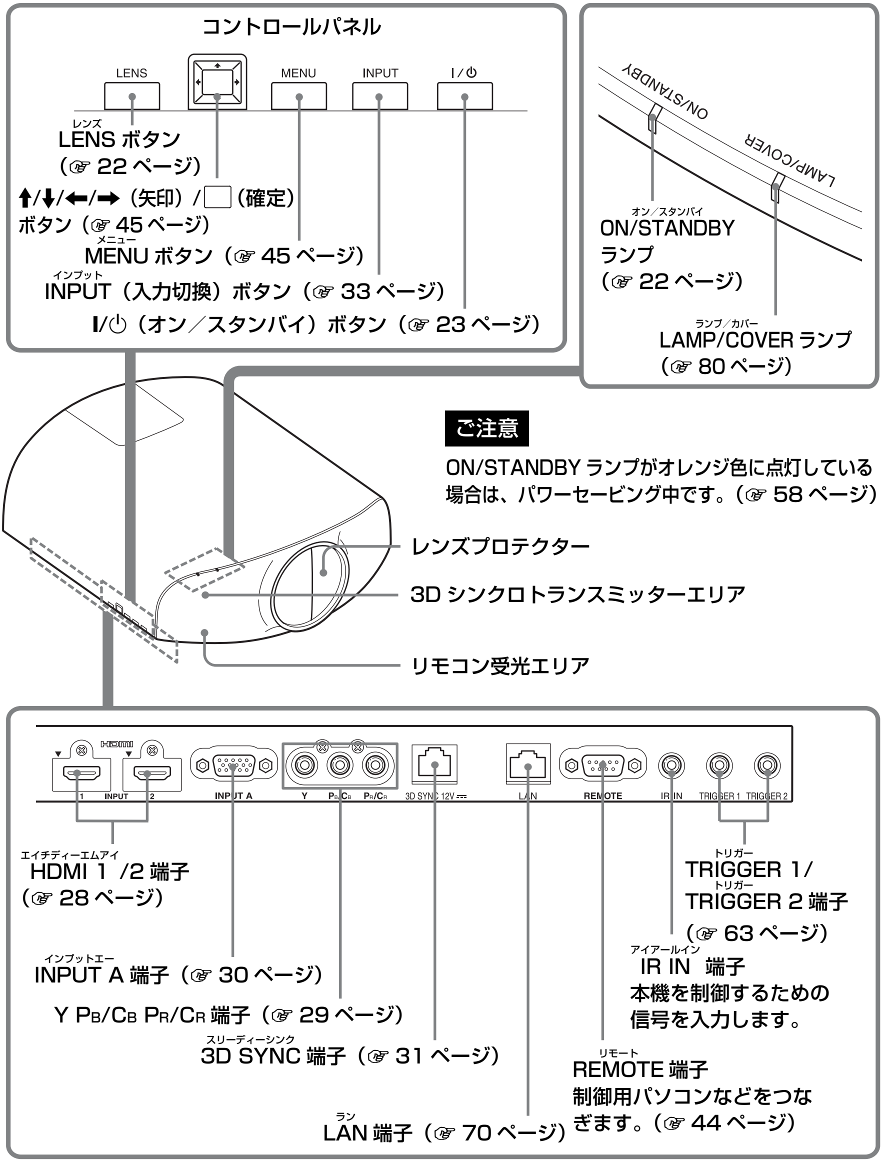
聴中に体調の変化を感じた場合は、視聴を中止してください。

- 3D映像の視聴中や3Dテレビゲームのプレイ中に、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴したり、3Dテレビゲームをしたりするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3Dテレビゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師に相談してください。本機と一緒に使用する機器やソフトの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様（特に 6 歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子様が3D映像を視聴したり、3Dテレビゲームをプレイする前に小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様が上記注意点を守るよう監督してください。
- 大人の監視がない場合、お子様だけのご使用はなさらないでください。
- ヒンジ（折りたたみ部）に指などを挟みこまれないようご注意ください。
- 3Dメガネを落としたり改造したりしないでください。
- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

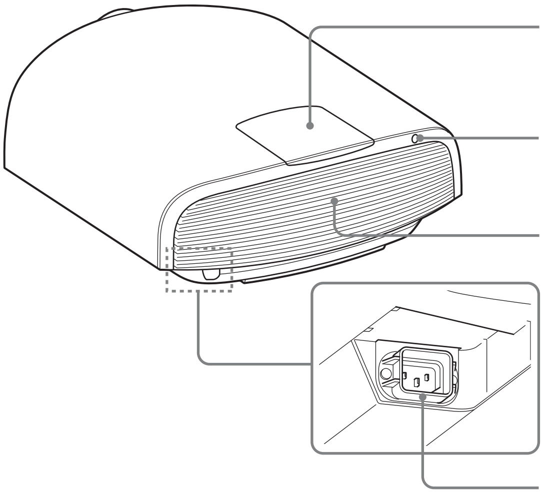
# 各部の名前

## 本機前面／右側面

本機のコントロールパネルのボタンはリモコンの同名称のボタンと同じ働きをします。



# 本機後面／底面

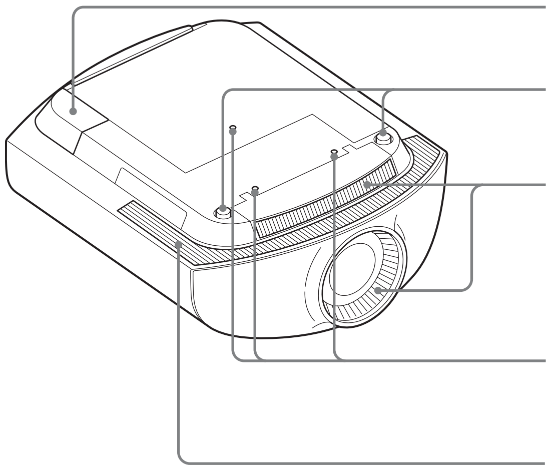


光源用ランプカバー
（☞ 84 ページ）

リモコン受光部
（☞ 22 ページ）

排気口
（☞ 19 ページ）

AC IN（電源端子）（☞ 17 ページ）



AC インレットカバー（付属品）
AC インレットカバーの取り付け方法は、17 ページをご覧ください。

前脚部（調整可）（☞ 27 ページ）

吸気口
（☞ 19 ページ）

プロジェクターサスペンションサポート取り付け穴
（☞ 107 ページ）

吸気口（☞ 19 ページ）

# リモコン

ライト
LIGHT ボタン
押すとリモコンのボタンが光ります。

キャリブレイテドプリセット
CALIBRATED PRESET ボタン（☞ 43 ページ）

ポジション
POSITION ボタン（☞ 39 ページ）

モーションエンハンサー
MOTION ENHANCER ボタン（☞ 50 ページ）

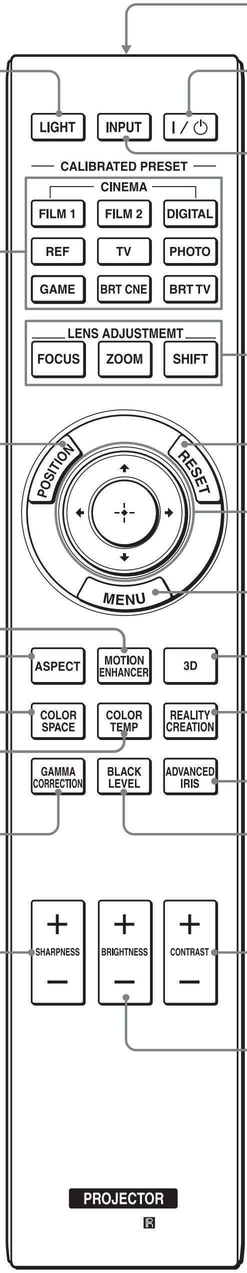
アスペクト
ASPECT ボタン（☞ 40 ページ）

カラースペース
COLOR SPACE ボタン（☞ 53 ページ）

カラーテンパラチャー
COLOR TEMP ボタン（☞ 51 ページ）

ガンマコレクション
GAMMA CORRECTION ボタン（☞ 52 ページ）

シャープネス
SHARPNESS ＋／－ ボタン（☞ 51 ページ）




リモコン発光部

I/⏻（オン／スタンバイ）ボタン（☞ 23 ページ）

インプット
INPUT（入力切換）ボタン（☞ 33 ページ）

レンズアジャストメント
LENS ADJUSTMENT ボタン（☞ 23 ページ）

リセット
RESET ボタン（☞ 47 ページ）

⬆/⬇/⬅/➡（矢印）/ ⊕（確定）ボタン（☞ 45 ページ）

メニュー
MENU ボタン（☞ 45 ページ）

スリーディー
3D ボタン（☞ 35 ページ）

リアリティークリエーション
REALITY CREATION ボタン（☞ 49 ページ）

アドバンストアイリス
ADVANCED IRIS ボタン（☞ 49 ページ）

ブラックレベル
BLACK LEVEL ボタン（☞ 52 ページ）

コントラスト
CONTRAST ＋／－ ボタン（☞ 50 ページ）

ブライトネス
BRIGHTNESS ＋／－ ボタン（☞ 50 ページ）

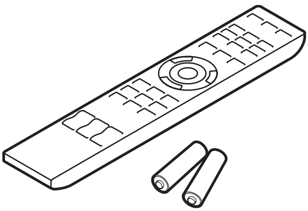
# 接続と準備

この章では、本機とスクリーンを置く位置を決めたり、本機で映す機器との接続のしかたなどを説明します。

## 付属品を確かめる

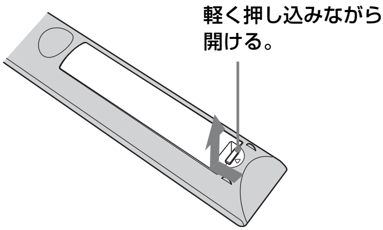
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

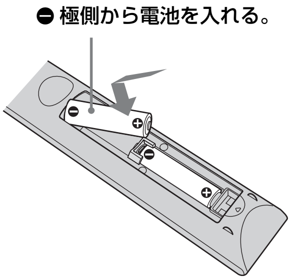
・リモコン（1 個）
・単 3 型乾電池（マンガン）（2 本）



・プロジェクター用電源コード（1 本）
・プラグホルダー（1）
・AC インレットカバー（1）
・3D メガネ（2 個）
・3D メガネ用ポーチ（2 個）
・USB 充電 AC アダプター（1 個）
・USB 充電 AC アダプター用
　AC コード（1 本）
・充電用 USB ケーブル（1.2m）（1 本）
・ImageDirector3 CD-ROM（1 枚）
・取扱説明書（本書）
・保証書（1 部）

## リモコンに電池を入れる




### 電池の使用について

リモコンには、単 3 型乾電池が 2 個必要です。
破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

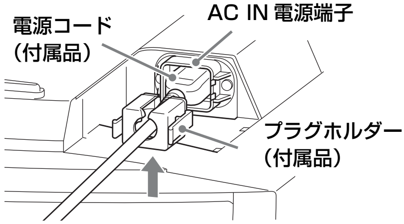
### リモコンの取り扱いについてのご注意

・落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

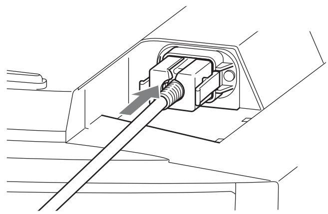
・直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

# 電源コードを接続する

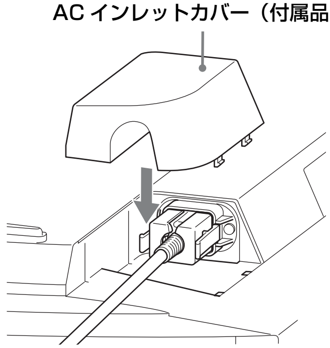
**1** 電源コードをAC IN電源端子に差し込み、プラグホルダーを電源コードに取り付ける。




**2** プラグホルダーをスライドさせて、本体に固定する。



**3** AC インレットカバーを取り付ける。



# 準備 1：本機を設置する

本機はレンズシフトにより、置き場所を広範囲に選べて簡単に美しい映像をご覧いただけます。

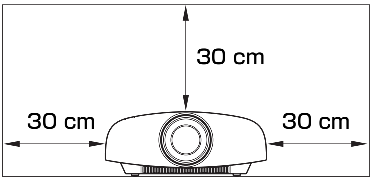
## 設置の前に

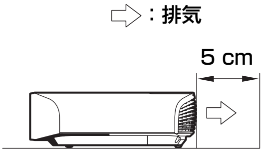
### 設置に適さない場所

次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

#### 壁の近く

本機の性能信頼性のために、図のように周囲の壁から離して設置してください。

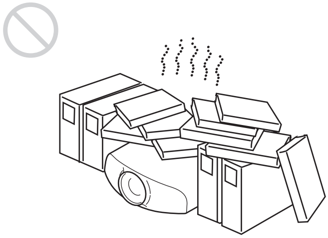


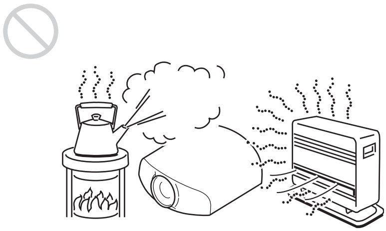

排気口側の壁には 5cm まで近づけることができます。壁は高温になる恐れがありますのでご注意ください。

#### 風通しの悪い場所

本機の周囲から 30 cm 以内には物を置かないようにしてください。

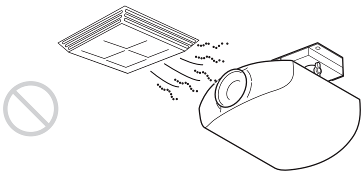


#### 温度や湿度が非常に高い場所



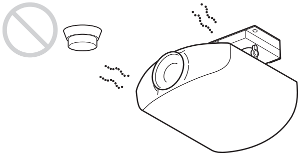
#### 空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

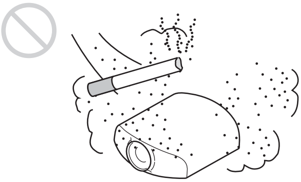


**熱感知器や煙感知器のそば**

感知器が誤動作する原因となることがあります。



**ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所**



## ご使用上のご注意

次のような状態では使用しないでください。

**吸気口や排気口を覆う**

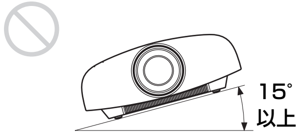


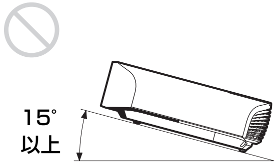

吸気口、排気口の位置について詳しくは、「各部の名前」（☞ 13 ページ）をご覧ください。

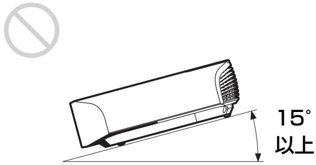
**本機を前後左右に傾ける**

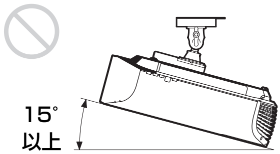
本機を 15 度以上傾けたり、床置きおよび天井つり以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらや光源用ランプの信頼性を著しく損ねる原因となることがあります。

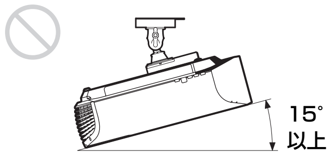
本機を前後に傾けて配置するとスクリーン上の画像は台形状になります。スクリーンとレンズは平行となるように配置してください（☞ 21 ページ）。




**標高の高い場所でご使用になる場合**

海抜 1,500 m 以上の場所でのご使用に際しては、「 初期設定」メニューの「冷却設定」を「強」にしてください（☞ 57 ページ）。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

**警告**

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

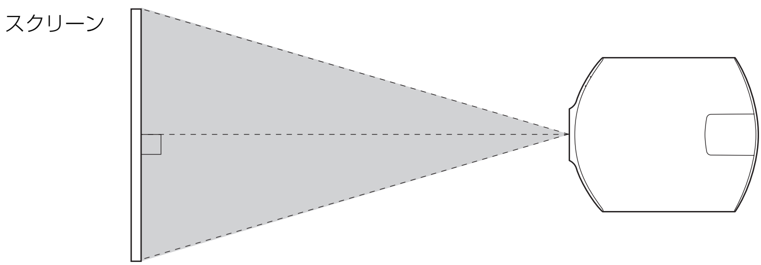
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

## 設置する

お使いになるスクリーンの大きさ（投影サイズ）やレンズシフト使用の有無によって、スクリーンと本機との位置関係が変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。スクリーンまでの距離（投写距離）と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（☞ 102 ページ）をご覧ください。

**1 レンズがスクリーンに平行になるように本機を置く。**

**上から見た図**




**2 スクリーンに画像を映して画面の位置を調整する。（☞ 22 ページ）**

**ご注意**

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によっては、まれに画面上に縞模様が現れることがあります。これは本機の故障ではありません。

## 天井つりする場合

**⚠警告**

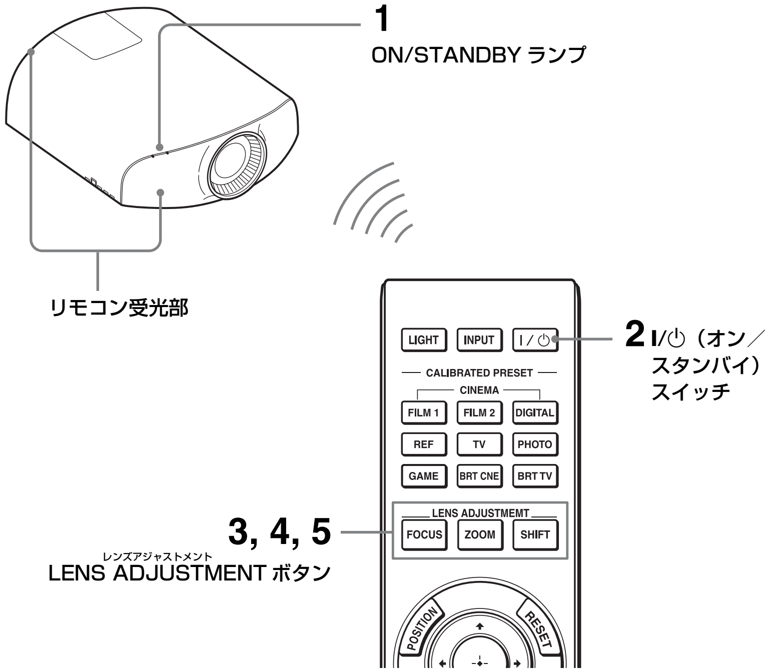
天井への取り付け、移動はご自身で行わないでください。
必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

### 特約店様へ

天井に取り付ける際は、ソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 をご使用のうえ、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。
詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。

# 準備 2：画面の位置を調整する

スクリーンに画像を映して画面の位置を調整します。




**ちょっと一言**

- 本体側面の I/⏻（オン／スタンバイ）、INPUT、MENU、↑/↓/←/→/□（ジョイスティック）ボタンは、リモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをし、LENS ボタンはリモコンの LENS ADJUSTMENT ボタン（FOCUS、ZOOM、SHIFT）と同じ働きをします。
- 本体のコントロールパネルでレンズを調整する場合は、LENS ボタンを押すたびに調整機能が切り換わります。

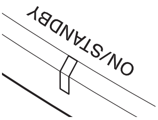
FOCUS → ZOOM → SHIFT
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿|

**ご注意**

設置場所によってはリモコンで操作できないことがまれにあります。その場合は、リモコンを本機リモコン受光部またはスクリーンに向けて操作してください。

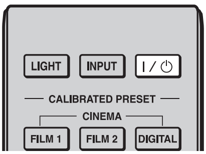
**1** **電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。**

ON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

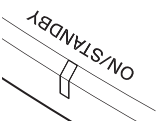


赤く点灯

**2** **I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。**

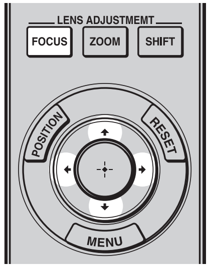


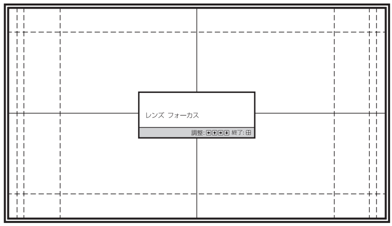

レンズプロテクターが開きます。
ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。



数十秒間点滅したのち点灯（緑色）

**3** **LENS ADJUSTMENT ボタン（FOCUS）を押してレンズ調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面のピントを合わせる。**




**ちょっと一言**

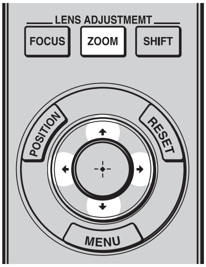
「設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、FOCUS ボタンや ZOOM ボタン、SHIFT ボタンによる調整ができません。（☞ 63 ページ）

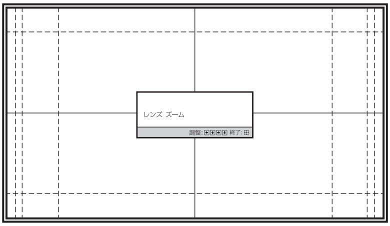
「機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。（☞ 62 ページ）

**ご注意**

レンズの調整は、リモコンまたは本体のコントロールパネルのボタンで行ってください。レンズを直接手で回すことは破損や故障の原因となりますので、おやめください。

**4** **LENS ADJUSTMENT ボタン（ZOOM）を押してレンズ調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の大きさを合わせる。**

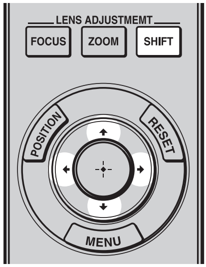


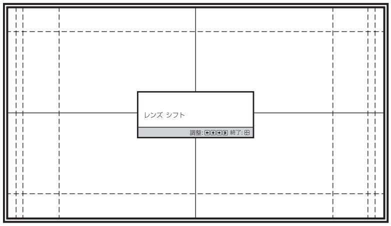




↑/→ ボタンを押すと、画面は大きくなります。

↓/← ボタンを押すと、画面は小さくなります。

**5** **LENS ADJUSTMENT ボタン（SHIFT）を押してレンズ調整画面（パターン画面）を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の位置を合わせる。**




**ちょっと一言**

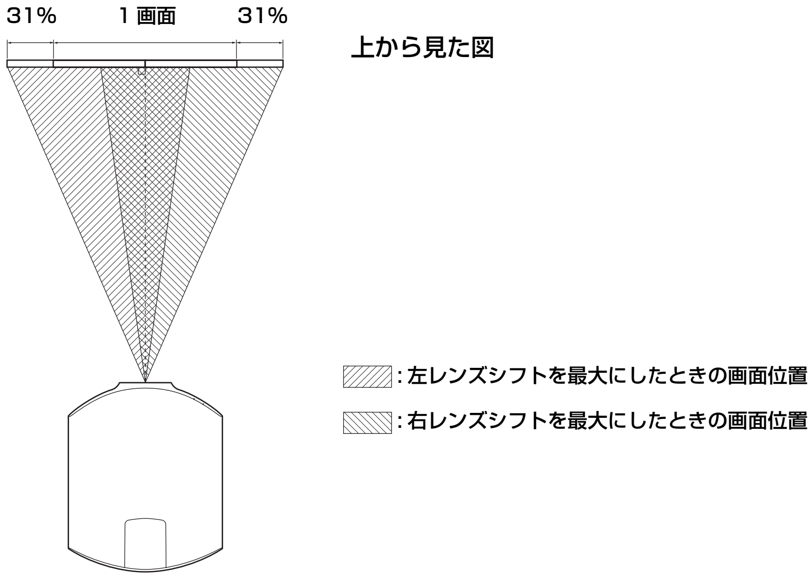
パターン画面は無操作状態が 1 分間続くと消えます。
また、⊕ ボタンを押すと、いつでもパターン画面を消すことができます。

**ご注意**

画面の位置を調整するときは、指をはさむ恐れがありますので、レンズには手を触れないようにしてください。

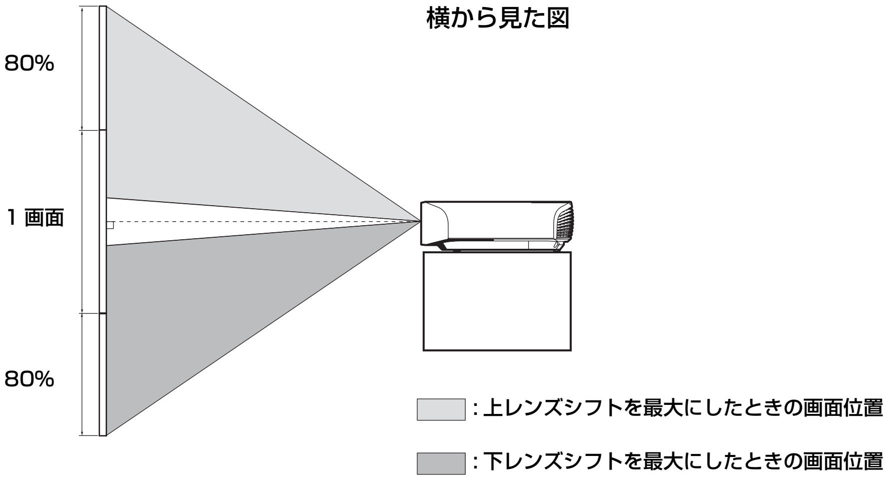
## 左右の位置を合わせるには

⬅/➡ ボタンを押す。
レンズの中心から左右に、それぞれ画面幅の最大 31% 画面ずつ投影画面を移動できます。



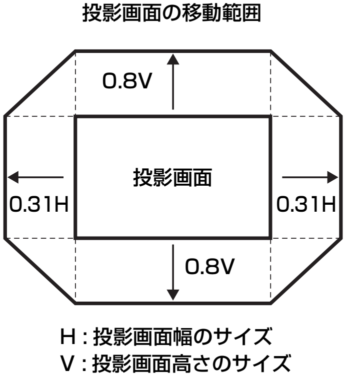
## 上下の位置を合わせるには

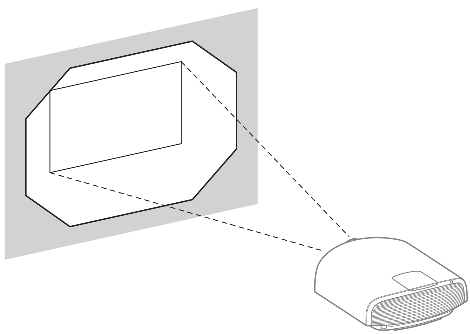
⬆/⬇ ボタンを押す。
レンズの中心から上下に、それぞれ画面高さの最大 80% 画面ずつ投影画面を移動できます。




**ご注意**

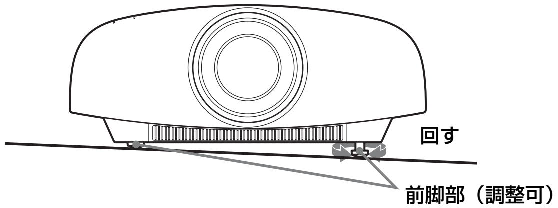
投影画面の移動は、下図のような 8 角形の範囲内でのみ調整できます。詳細は「投写距離とレンズシフト量」（☞ 102 ページ）をご覧ください。



## 設置面の傾きを調整するには

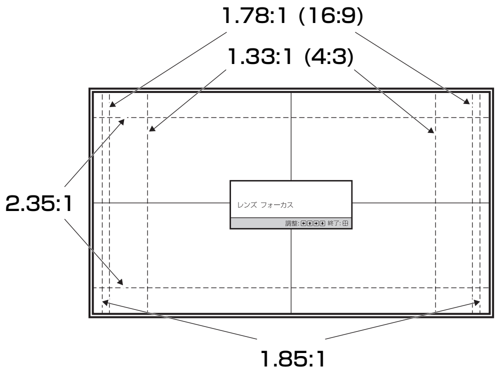
本機を置く台などが水平でない場合は、前脚部（調整可）を使って調整できます。




ご注意

・本体を垂直方向に傾けると、投影画面が台形に歪みますのでご注意ください。
・前脚部（調整可）を回す際は、手を挟まないようご注意ください。

## レンズ調整画面（パターン画面）




破線は各アスペクト比の画角を示しています。

# 準備 3：機器をつなぐ

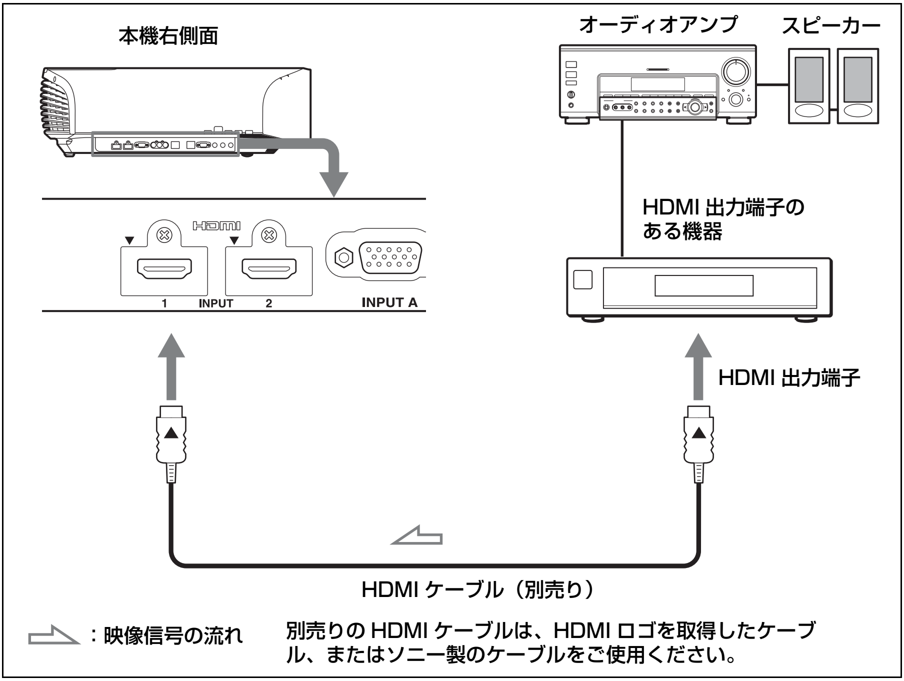
### 接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不充分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ビデオ機器をつなぐ

### HDMI 出力端子のある機器をつなぐ場合

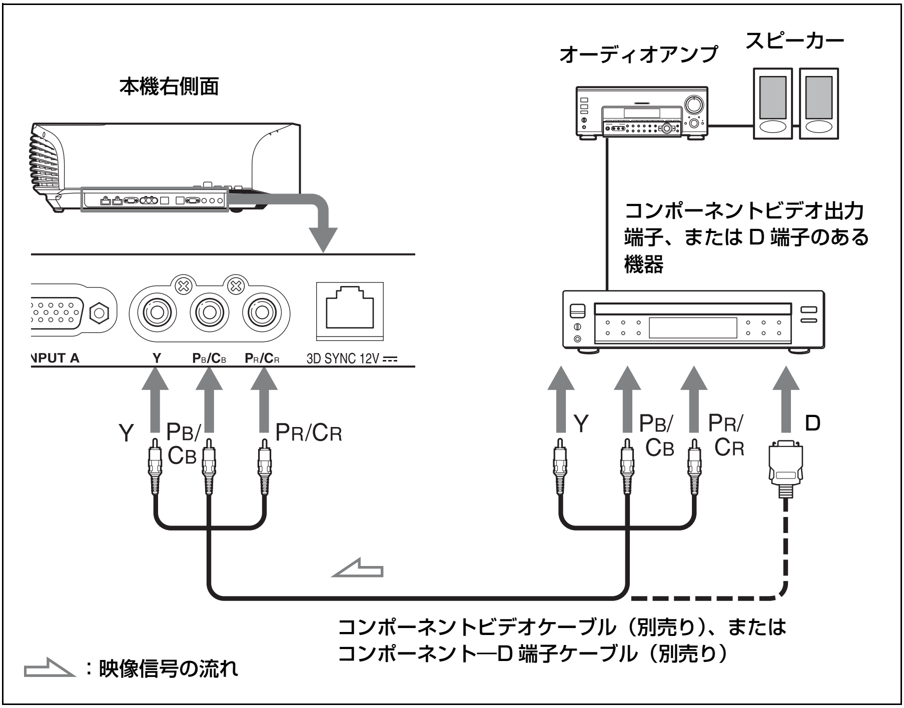
HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスク（BD）プレーヤー／レコーダー、PS3® などは、本機の HDMI 入力端子につなぐとより高品質の映像をお楽しみいただけます。さらに、HDMI 機器制御対応機器であれば、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。詳しくは「機能設定」メニューの「HDMI 機器制御設定」（☞ 60 ページ）および「HDMI 機器制御について」（☞ 74 ページ）をご覧ください。



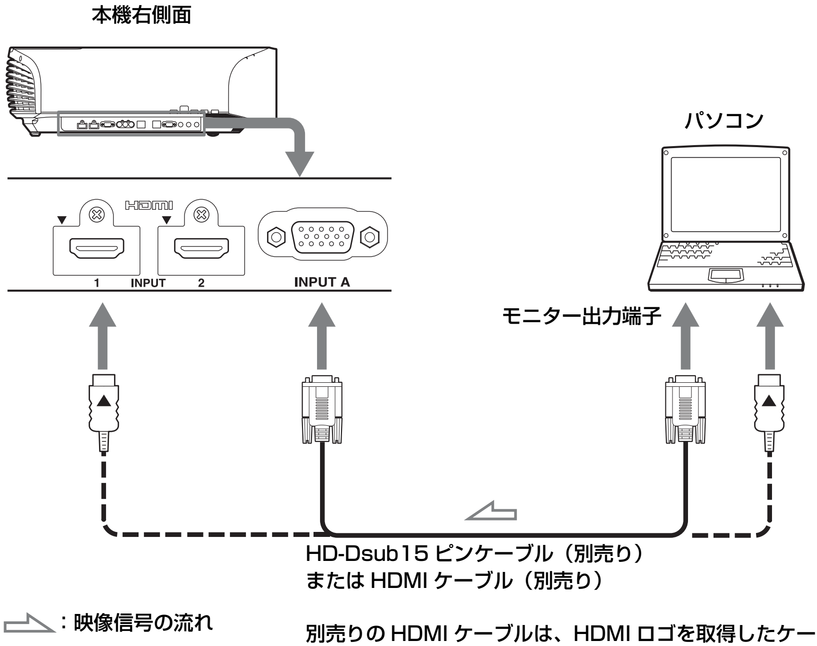
ご注意

- HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像、4K の映像が正しく表示できない場合があります。
- HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

## コンポーネントビデオ出力端子、または D 端子のある機器をつなぐ場合



## パソコンをつなぐ




別売りの HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したケーブル、またはソニー製のケーブルをご使用ください。

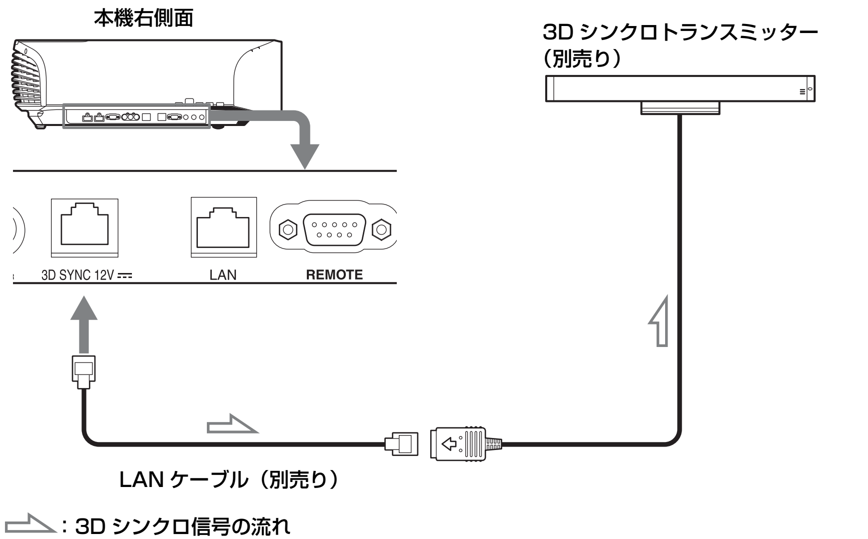
**ご注意**

- HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p の映像が正しく表示できない場合があります。
- HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、本機に正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターのみに信号が出力されるように、パソコンを設定してください。
パソコンの設定については、パソコンのメーカーへお問い合わせください。
- HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

## 3D シンクロトランスミッターをつなぐ



本機の設置環境によっては、本機に内蔵されている 3D シンクロトランスミッターからの信号を 3D メガネが正しく受信できない場合があります。その場合は、別売りの 3D シンクロトランスミッターを視聴位置の近くに設置することで、3D 映像をお楽しみいただけます。




**ちょっと一言**

3D シンクロトランスミッターは、3D メガネに直接向けるように設置してください。また、3D メガネが安定して動作するように、視聴する場所のそばに置くことをおすすめします。

**ご注意**

- 3D SYNC 端子は 3D シンクロトランスミッター専用の端子です。ネットワークや他の機器は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 市販の LAN ケーブル(ストレートタイプ)を使用することで、3D シンクロトランスミッターを本機から離して使うことができます。
  特定の周波数の妨害波が連続的に発生する環境では、まれに 3D 映像と 3D メガネの同期がはずれることがあります。
  妨害波によって同期がはずれる場合は、カテゴリー 7 と記載されたケーブルをご使用ください。
  さらに妨害波の多い環境下で 3D 映像をご覧になる場合は、本機に内蔵のトランスミッターのご使用をおすすめします。
- ケーブルは 15m 以下のものを使用し、中継アダプターなどを使用して延長しないでください。また、LAN ケーブルはできるだけ AC コードから離して接続してください。

- 接続できる 3D シンクロトランスミッターは 1 台です。複数を接続した場合、故障の原因となることがあります。
- 3D シンクロトランスミッターを接続しているとき、本機前面に内蔵されている 3D シンクロトランスミッターはオフになります。両方を同時に使用することはできません。

# 見る

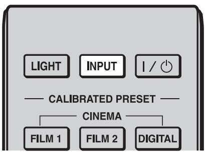


この章では、本機につないだ DVD プレーヤーなどの映像をスクリーンに映して見るときの操作を説明します。また、お好みに合わせた画質でご覧になる操作も説明しています。

## 映像を投写する

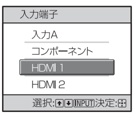
**1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。**

**2 INPUT ボタンを押して、スクリーンに入力選択パレットを表示させる。**




**3 スクリーンに映したい機器を選ぶ。**

INPUT ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/ ⊕（確定）ボタンで映したい機器を選びます。




例：本機の HDMI1 端子につないだビデオの画像をみる

| 画像を見たい機器 | 選択する画面表示 |
|---|---|
| 本機の INPUT A 端子につないだ機器 | 入力 A |
| 本機の Y PB/CB PR/CR 端子につないだ機器 | コンポーネント |
| 本機の HDMI 1 端子につないだ機器 | HDMI 1 |
| 本機の HDMI 2 端子につないだ機器 | HDMI 2 |

**ちょっと一言**

- 「機能設定」メニューの「オート入力サーチ」が「入」に設定されている場合は、入力選択パレットには現在入力信号のある入力だけが表示されます。
- 「初期設定」メニューの「画面表示」が「切」に設定されている場合は、入力選択パレットは表示されません。INPUT ボタンを押すと、順に入力端子が切り換わります。
- 「機能設定」メニューの「HDMI 機器制御」が「入」に設定されている場合は、HDMI 1 端子または HDMI 2 端子につないだ機器の操作と連動して、自動的に入力端子に切り換わります。ただし、つないだ機器が HDMI 機器制御に対応している場合に限ります。
- メニュー画面やメッセージなどの表示言語は、「初期設定」メニューの「表示言語」で変更することができます。（☞ 57 ページ）

### 電源を切る

**1 I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押す。**

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

**2 メッセージが消える前に I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンをもう一度押す。**

レンズプロテクターが閉じます。指や物を挟まないように注意してください。
ON/STANDBY ランプが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押してもランプは点灯しません。

ファンが止まり、ON/STANDBY ランプが緑色の点滅から赤色の点灯に変わります。

以上で電源が切れました。電源コードを抜くことができます。

**ご注意**

ランプの点滅中は、電源コードを抜かないでください。

上記の手順のかわりに I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

# 3D 映像を楽しむ

本機では付属の 3D メガネを使って、3D テレビゲームや 3D ブルーレイディスクなどの迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

**1 接続した 3D 対応の HDMI 機器の電源を入れ、3D コンテンツを再生する。**

3D コンテンツの再生方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

**2 本機の電源を入れ、スクリーンに 3D 映像を映す。**

映像の映しかたについて詳しくは、「映像を投写する」（☞ 33 ページ）をご覧ください。

**3 3D メガネの電源を入れ、3D メガネを正しく装着する。**

3D メガネの使いかたについて詳しくは、「3D メガネを使う」（☞ 35 ページ）をご覧ください。

**ちょっと一言**

- 本機は、3D 信号を検出したときに自動的に 3D 映像を映すよう、お買い上げ時に「2D-3D 表示選択」を「オート」に設定しています。
- 3D 映像を 2D 映像でご覧になりたいときは、「2D-3D 表示選択」を「2D」に設定してください。（☞ 59 ページ）

**ご注意**

- 信号の種類によっては、自動的に 3D 映像は表示されません。視聴する映像の 3D フォーマットを確認して「2D-3D 表示選択」を「3D」に、「3D フォーマット」を「左右分割方式」または「上下分割方式」に設定してください。（☞ 59 ページ）
- 3D メガネの受信範囲をご確認のうえ、ご使用ください。（☞ 36 ページ）
- 3D 映像は HDMI 入力のときのみ見ることができます。ブルーレイディスク（BD）プレーヤーやゲーム機などの 3D 機器は、HDMI ケーブルで接続してください。
- 3D 映像の見えかたには個人差があります。
- 使用環境の温度が低いときは、3D 効果が出にくいことがあります。

## 3D の調整と設定

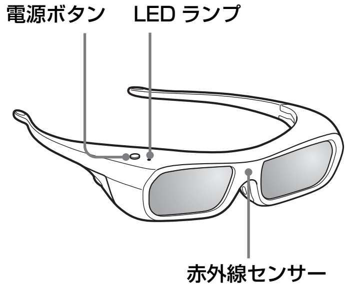
3D の調整と設定は、リモコンの 3D ボタンおよび「機能設定」メニューの「3D 設定」で行います。詳しくは、「3D 設定」をご覧ください。（☞ 59 ページ）

## 3D メガネを使う

3D 信号は、本機の前面に内蔵されている 3D トランスミッターからスクリーンへ反射させて 3D メガネに届きます。3D 映像を見るときは、3D 信号が正しく受信できるようスクリーンの方向を向いてください。

**1 3D メガネの電源ボタンを押す。**

LED ランプが緑色に点滅します。




**2 3D メガネをかける。**

**3 スクリーンの方向へ向く。**

**使用上のご注意**

3D メガネは本機前面の 3D シンクロトランスミッターからの赤外線をスクリーンに反射させて受光します。以下の場合に、正しく動作しないことがあります。

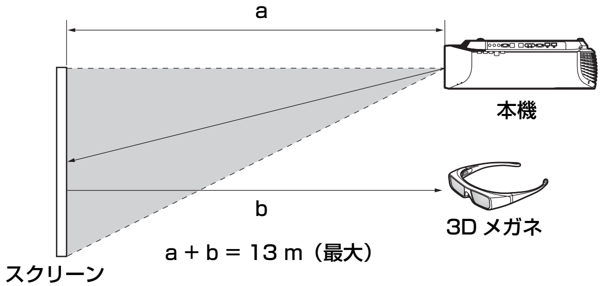
- 3D メガネがスクリーンの方向を向いていない場合。
- 3D メガネの前方に障害物などがある場合。
- 視聴している場所がスクリーンから離れすぎている、また本機とスクリーンの距離が遠すぎる場合。
- 赤外線機器（照明機器、暖房機器、IR 送受信器）が近くにある場合。

## 3D メガネの動作範囲

以下の図 A、図 B は、3D メガネの動作範囲の目安です。動作範囲を超えて視聴したり、本機を設置すると 3D メガネは動作しにくくなります。また、角度と距離は部屋の環境やスクリーンの種類、本機の設置状況によって異なります。

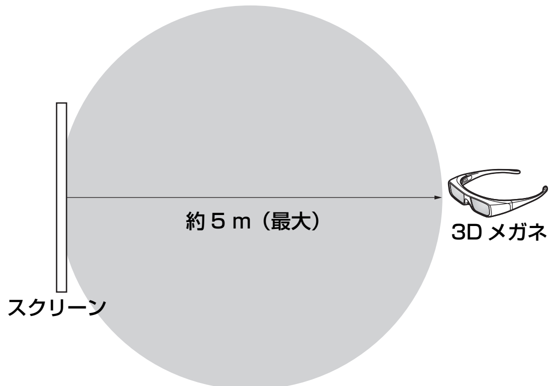
### 図 A：3D シンクロ信号が到達可能な距離（シフト量 0.5V の場合）

横から見た図




### 図 B：3D メガネの動作範囲（本機とスクリーンの設置距離が 8 m 時のイメージ）

上または横から見た図



## 3D メガネを充電する

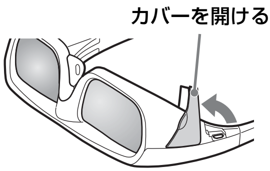
3D メガネを充電するときは、本機に付属の USB 充電 AC アダプターをお使いください。

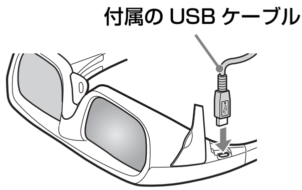
**ご注意**

本機に付属の充電用 USB ケーブルを、本機に付属する USB 充電 AC アダプター以外の USB 端子に接続すると、故障や発熱、発火等の原因になります。

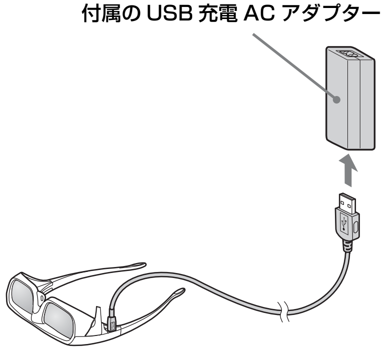
**1** 3D メガネの電源を切る。

**2** 3D メガネのカバーを開けて、本機に付属の充電用 USB ケーブルを接続する。

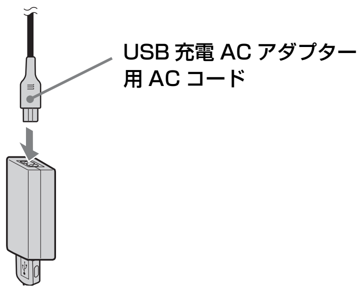



**3** USB ケーブルを付属の USB 充電 AC アダプターの USB 端子に接続する。




**4** USB 充電 AC アダプター用 AC コードを付属の USB 充電 AC アダプターに接続する。




**5** USB充電ACアダプターをコンセントに接続する。

3D メガネの充電が始まります。充電中は 3D メガネの LED ランプがオレンジ色に点灯します。
（充電が完了すると、LED ランプは消えます。）

## USB 充電 AC アダプター使用上のご注意

### 置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- **異常に高温になる場所**
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- **直射日光の当たる場所、熱器具の近く**
  変形したり、故障したりすることがあります。
- **激しい振動のある場所**

### 使用について

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 使用後は必ず USB 充電 AC 電源アダプターをコンセントから抜いておいてください。
- コンセントから抜くときは AC コードのプラグを持って抜いてください。
- USB 充電 AC アダプターの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。

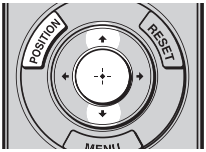
### お手入れについて

- 汚れたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
  汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質することがあります。

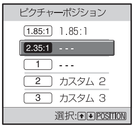
# ピクチャーポジションを使う

レンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）とアスペクト比の組み合わせを 5 つまで保存、呼び出すことができます。

**1** POSITION ボタンを押す。




ピクチャーポジション選択パレットが表示されます。




**2** POSITION ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/ ⊕ ボタンを押してポジションを選ぶ。

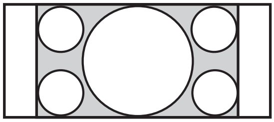
選んだポジションが呼び出されます。

レンズの設定とアスペクト比を保存する、または削除するときは、「 スクリーン設定」メニューの「ピクチャーポジション」で行います（☞ 54 ページ）。

レンズの設定とアスペクト比が保存されていないポジションは「---」と表示されます。

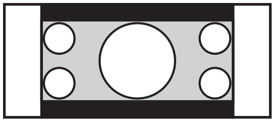
## レンズの動きのイメージ

ここでは、2.35:1 スクリーンに 1.78:1（16:9）と 2.35:1 のアスペクト映像を複数投写する場合を例としています。



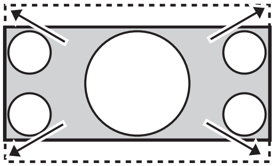
1.78:1（16:9）映像を入力した状態

↓



2.35:1 映像を入力した状態

↓ POSITION ボタンを押す。



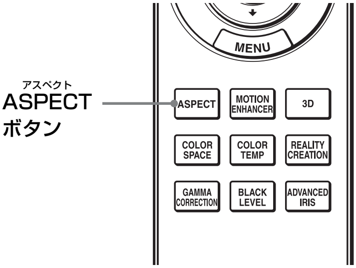
2.35:1 映像がスクリーンいっぱいまで拡大されます。

**ご注意**

- ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に物を置いたり、触れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- 動作中にリモコンや本体のボタンを押すと、動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。
- ピクチャーポジション機能は、レンズ設定状態の再現を 100% 保証するものではありません。
- レンズズームを使って、複数のアスペクトのスクリーン画角を併用するときは、投写距離表（☞ 103 ページ）を参照して本機を範囲内に設置してください。設定位置によっては、この表の範囲内でもレンズシフトの範囲に制約が生じる場合があります。

# 映像に合わせてアスペクト比を切り換える

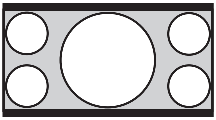
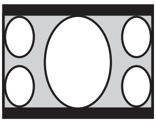
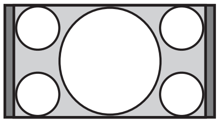
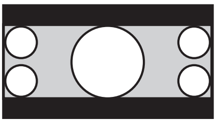
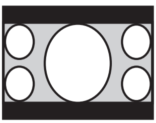
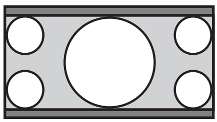
お好みのアスペクト比を選べます。

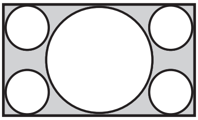
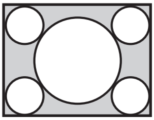
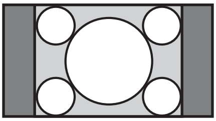
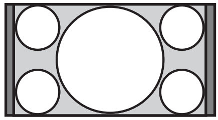
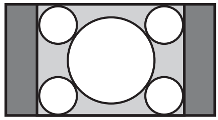
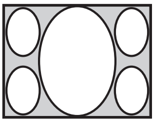
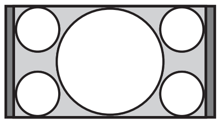
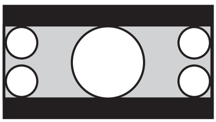
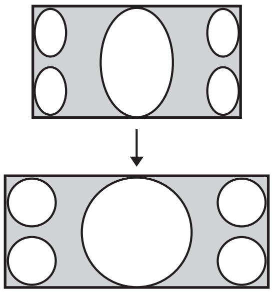


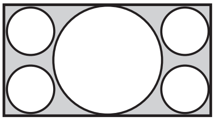
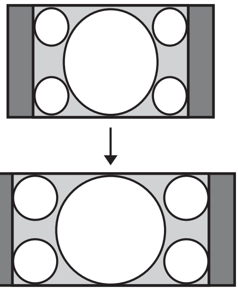

**ASPECT ボタンを押す。**

押すたびに、「アスペクト」の設定が順次切り換わります。

メニューでも選べます。（☞ 55 ページ）

| オリジナル映像 | おすすめの設定とそのときに投写される映像 |
| --- | --- |
|  1.85:1  スクイーズ 1.85:1 | 「1.85:1 ズーム」  |
|  2.35:1  スクイーズ 2.35:1 | 「2.35:1 ズーム」  |

| オリジナル映像 | おすすめの設定とそのときに投写される映像 |
| --- | --- |
| <br>1.78:1（16:9）<br><br>1.33:1（4:3）<br><br>サイドパネル付き 1.33:1（4:3） | 「ノーマル」<br><br> |
| <br>スクイーズ | 「ストレッチ」<br> |
| <br>2.35:1 | 「V ストレッチ」<br><br>アナモフィックレンズをお使いの場合 |

| オリジナル映像 | おすすめの設定とそのときに投写される映像 |
|---|---|
|  16:9 | 「スクイーズ」  アナモフィックレンズをお使いの場合 |

**ご注意**

- 入力信号によって、選択できる項目が異なります。（☞ 99 ページ）
- コンピューター信号入力時、プリセットメモリーナンバー 96 信号（☞ 93 ページ）入力時は、アスペクトは選択できません。

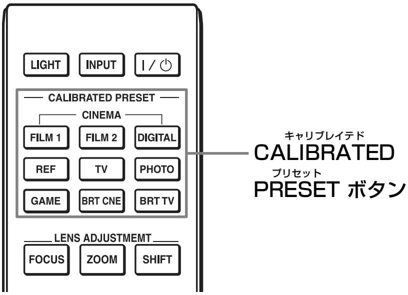
## アスペクト切換時のご注意

- テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してアスペクトを選択してください。
- 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト切り換え機能などを利用して、画積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

# 画質を選ぶ

使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。
各プリセットモードは、2D ／ 3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。

## CALIBRATED PRESET ボタンを押す。




| 設定モード | 説明 |
|---|---|
| CINEMA FILM1（シネマ フィルム 1） | 最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定 |
| CINEMA FILM2（シネマ フィルム 2） | FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定 |
| CINEMA DIGITAL（シネマ デジタル） | DCI 仕様（☞ 75 ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定 |
| REF（リファレンス） | コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定 |
| TV（TV） | テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定 |
| PHOTO（フォト） | デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定 |
| GAME（ゲーム） | ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定 |
| BRT CINE（ブライトシネマ） | リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定 |
| BRT TV（ブライト TV） | リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定 |

# 付属のソフトウェアを使って画質を調整する（ImageDirector3）

付属 CD-ROM の「ImageDirector3」を使って、本機に接続したパソコンから、ガンマ値をお好みに応じて調整することができます。本機の REMOTE 端子または LAN 端子にパソコンをつなぎ、パソコンから「ImageDirector3」を起動します。
「ImageDirector3」の使いかたについては、CD-ROM 内のヘルプをご覧ください。

**ご注意**

- 「ImageDirector3」をパソコンにあらかじめインストールしておく必要があります。
- REMOTE 端子または LAN 端子にパソコンをつなぐときは、パソコンおよび本機の電源を切った状態でつないでください。
- 「ImageDirector3」で調整できるのは「 画質設定」メニューの「ガンマ補正」（☞ 52 ページ）で 1.8、2.0、2.1、2.2、2.4、2.6 が選ばれているときです。ガンマ 7 ～ 10、「切」のときは調整できません。
- 「ImageDirector3」をご使用の際は、あらかじめ「 画質設定」メニューの「ガンマ補正」で、1.8、2.0、2.1、2.2、2.4、2.6 を選択してください。また、「ImageDirector3」上での表示は、それぞれガンマ 1、ガンマ 2、ガンマ 3、ガンマ 4、ガンマ 5、ガンマ 6 となります。
- 3D 信号を入力しているときや、3D 映像を表示しているときは、「ImageDirector3」を使用すると画像が乱れることがあります。

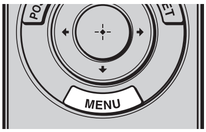
# メニュー画面で調整や設定をする

この章では、メニュー画面で画質を細かく調整したり、画面の位置やサイズ、アスペクトを調整するなどの操作を説明しています。

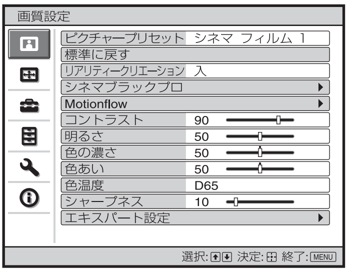
## メニュー操作のしかた

本機では、各種調整や設定をメニュー画面で行います。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

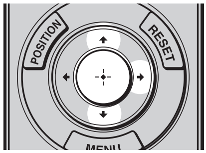
**1 MENU ボタンを押す。**



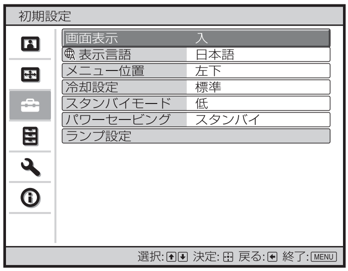

メニュー画面が表示されます。



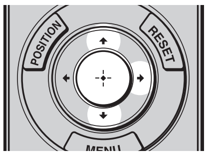

**2 ↑/↓ボタンを押してメニュー項目を選び、→ または ⊕ ボタンを押す。**




調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が白色で表示されます。



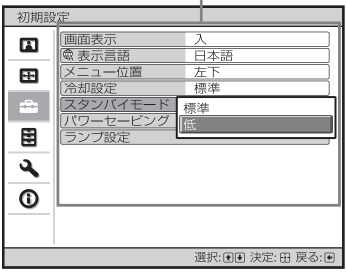

**3 ↑/↓ボタンを押して設定したい項目を選び、→ または ⊕ ボタンを押す。**



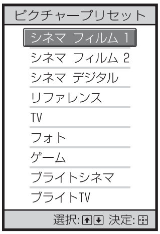
設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

**ポップアップメニュー**

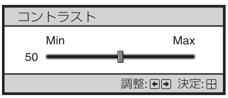
**設定できる項目**




**設定メニュー**




**調整メニュー**




**次の階層に表示された画面**

**設定できる項目**




**4 調整や設定をする。**

**数値を変更する項目の場合は**

数値を大きくしたいときは、↑/→ボタンを押す。⊕ボタンを押すと設定が確定し、元のメニュー画面に戻ります。
数値を小さくしたいときは、↓/←ボタンを押す。⊕ボタンを押すと元のメニュー画面に戻ります。

**設定を変更する項目の場合は**

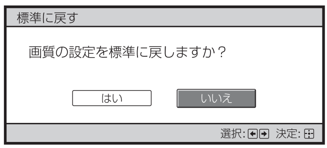
↑/↓ボタンを押して設定を選ぶ。
⊕ボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし項目によっては←ボタンでも元の画面に戻ります。

## メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押す。

## 調整した画質をお買い上げ時の値に戻すには

「画質設定」メニューから「標準に戻す」を選択する。




画面表示されたら←ボタンで「はい」を選択して ⊕ボタンを押す。
次の全項目の設定値がお買い上げ時の値に戻ります。
「画質設定」メニューの「リアリティークリエーション」、「シネマブラックプロ」、「Motionflow」、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」および「エキスパート設定」の各項目

### 調整、設定した項目をお買い上げ時の値に戻すには

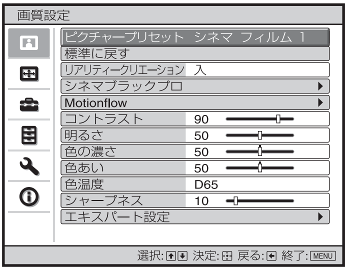
メニュー画面で項目を選び、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューを表示する。
リモコンの RESET ボタンを押すと、選択した項目のみお買い上げ時の値に戻ります。

**ご注意**

リモコンの RESET ボタンは、調整メニューまたは設定メニューが選択されている状態でのみ有効です。

# 画質設定メニュー

画質を調整するメニューです。

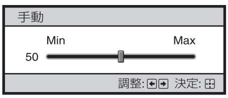



**ご注意**

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（☞ 95 ～ 98 ページ）をご覧ください。

[ ] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

| | |
|---|---|
| **ピクチャープリセット**<br>[CALIBRATED PRESET] | **使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。**<br>各プリセットモードは、2D ／ 3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。<br>**「シネマ フィルム 1」**：最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定です。<br>**「シネマ フィルム 2」**：FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定です。<br>**「シネマ デジタル」**：DCI 仕様（☞ 75 ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定です。<br>**「リファレンス」**：コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定です。<br>**「TV」**：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定です。<br>**「フォト」**：デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定です。<br>**「ゲーム」**：ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定です。 |

| | |
|---|---|
| **ピクチャープリセット [CALIBRATED PRESET]** | **「ブライトシネマ」：**リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定です。<br>**「ブライト TV」：**リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した画質設定です。<br>**ちょっと一言**<br>画質を調整した場合はその設定が入力端子ごとに保存されます。 |
| **標準に戻す** | 現在選択しているプリセットモードの設定を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。（☞ 46 ページ）<br>**ちょっと一言**<br>「色温度」のカスタム 1 ～ 5 の調整値は保持されます。 |
| **リアリティークリエーション [REALITY CREATION]** | **精細度とノイズ処理を調整してリアルな画像にします。（超解像機能）**<br>**「入」：**精細度とノイズ処理の効果を変更できます。<br>**「精細度」：**設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。<br>**「ノイズ処理」：**設定値を上げると、ザラツキ等のノイズが目立たなくなります。<br>**「切」：**リアリティークリエーション機能を使用しません。 |
| **シネマブラックプロ** | **アドバンストアイリス [ADVANCED IRIS]**<br>**アイリス機能を切り換えます。**<br>**「オート フル」：**入力ソースの輝度レベルに応じてアイリス（絞り）を自動で調整して光量を最適化します。さらに、ピーク白と暗部の諧調表現を最適化する信号処理により広いダイナミックレンジを表現します。明るく、高いコントラストによる力強い映像が特徴です。<br>**「オート リミテッド」：**「オート フル」より明るさを抑え、暗室での視聴に適した映像になります。<br>**「手動」：**絞り値（固定）を手動で調整します。<br><br><br>**「切」：**アイリス（絞り）機能を使用しません。 |

| | |
|---|---|
| **シネマブラックプロ** | **ランプコントロール**<br>**ランプ出力を切り換えます。**<br>**「高」：** 輝度が上がり、明るい画面になります。<br>**「低」：** 輝度が下がり、明るさを抑え黒を引き締めます。<br>**ちょっと一言**<br>「低」にするとファンの回転音や消費電力が下がり、またランプの寿命を延ばすことができます。 |
| Motionflow | **フィルムプロジェクション**<br>**フィルム投影映像描写を再現します。**<br>ご使用になるコンテンツやお好みに応じて使い分けてください。<br>**「入」：** 残像感を低減させます。<br>**「切」：**「入」よりも残像感の低減効果は減りますが、明るい画質になります。 |
| | **モーションエンハンサー [MOTION ENHANCER]**<br>**動きの速い映像を、残像感を少なく、なめらかに再現します。**<br>**「強」：**「弱」よりなめらかな画質になります。<br>**「弱」：** なめらかな画質設定です。<br>**「切」：** モーションエンハンサー機能をオフにします。<br>**ちょっと一言**<br>シーンによっては、画像にデジタル特有のノイズが出る場合がありますので、その場合は「オフ」にしてください。 |
| **コントラスト [CONTRAST]** | **映像のコントラストを調整します。**<br>設定値を大きくすると映像のメリハリが強くなり、小さくすると弱くなります。<br>リモコンの CONTRAST+ ／－ボタンで調整できます。 |
| **明るさ [BRIGHTNESS]** | **映像の明るさ（輝度）を調整します。**<br>設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。<br>リモコンの BRIGHTNESS+ ／－ボタンで調整できます。 |
| **色の濃さ** | **色の濃さを調整します。**<br>設定値を大きくすると濃くなり、小さくすると薄くなります。 |
| **色あい** | **色あいを調整します。**<br>設定値を大きくすると緑がかり、小さくすると赤みがかります。 |

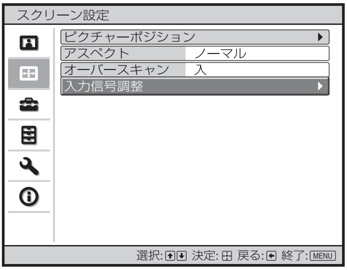
| | |
|---|---|
| 色温度<br>[COLOR TEMP] | **色温度を調整します。**<br>**「D93」：**一部のテレビで標準的に用いられる 9,300 K 相当の色温度です。<br>白い部分が青みがかった冷たい色調になります。<br>**「D75」：**補助標準光とされる 7,500 K 相当の色温度です。<br>「D93」と「D65」の中間の色調になります。<br>**「D65」：**標準光とされる 6,500 K 相当の色温度です。<br>白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。<br>**「DCI」：**DCI 仕様（☞ 75 ページ）の色温度です。<br>**「D55」：**補助標準光とされる 5,500 K 相当の色温度です。<br>白い部分がさらに赤みがかった暖かい色調になります。<br>**「カスタム 1 ～ 5」：**<br>好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できます。<br>**お買い上げ時は、以下のように設定されています。**<br>**カスタム 1：**色温度は「D93」と同じ設定<br>**カスタム 2：**色温度は「D75」と同じ設定<br>**カスタム 3：**色温度は「D65」と同じ設定<br>**カスタム 4：**色温度は「DCI」と同じ設定<br>**カスタム 5：**色温度は「D55」と同じ設定 |
| シャープネス<br>[SHARPNESS] | **映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくします。**<br>設定値を大きくすると輪郭がくっきりし、小さくすると柔らかくなりノイズを目立たなくします。<br>リモコンの SHARPNESS+ ／－ボタンで調整できます。 |
| エキスパート設定 | NR（ノイズリダクション）<br>**映像のざらつきやノイズを低減します。**<br>通常は「切」でお使いください。<br>ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。 |
| | MPEG NR（MPEG ノイズリダクション）<br>**デジタル特有のブロックノイズやモスキートノイズを低減します。**<br>通常は「切」でお使いください。<br>ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。 |
| | スムースグラデーション<br>**画像の平坦部のグラデーションを滑らかにします。**<br>**「強」、「中」、「弱」：**スムースグラデーションの効果を変更できます。<br>**「切」：**スムースグラデーション機能をオフにします。 |

| | |
|---|---|
| エキスパート<br>設定 | フィルムモード<br>**映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。**<br>**「オート 1」**：映画オリジナルの動きを再現するのに適しています。<br>通常は「オート 1」のままお使いください。<br>**「オート 2」**：映画ソフトなど 2-3、2-2 プルダウン方式の素材を自動で検出して、なめらかな動きで再現します。また、2-3、2-2 プルダウン方式以外の素材の場合は、プログレッシブ再生します。<br>**「切」**：上記自動検出を行わず、プログレッシブ再生のみ行います。 |
| | 黒補正 [BLACK LEVEL]<br>**お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。**<br>**「強」、「中」、「弱」**：黒補正の効果を変更できます。<br>**「切」**：黒補正機能をオフにします。 |
| | ガンマ補正 [GAMMA CORRECTION]<br>**補正映像の階調の応答特性を設定します。**<br>好みに合わせて 10 通りの階調の中から選択できます。<br>**「1.8」**：　**明**　全体的に明るい映像になります。<br>**「2.0」**　↑<br>**「2.1」**<br>**「2.2」**<br>**「2.4」**　↓<br>**「2.6」**：　**暗**　全体的に暗い映像になります。<br>**「ガンマ 7」**：　映像の暗い部分を明るくし、階調表現が豊かになります。<br>**「ガンマ 8」**：　明暗をやや強調した画質になります。<br>**「ガンマ 9」**：　明暗を「ガンマ 8」より強調した画質になります。<br>**「ガンマ 10」**：フィルムのガンマカーブに準じた設定になっています。<br>**「切」**：ガンマ補正を行いません。<br>付属 CD-ROM の「ImageDirector3」（☞ 44 ページ）を使うと、好みに応じて階調を調整でき、調整した値はパソコンに保存できます。<br>「ImageDirector3」の使いかたについて詳しくは、CD-ROM 内のヘルプをご覧ください。<br>**ちょっと一言**<br>「ImageDirector3」で調整できるのは、「ガンマ補正」で 1.8、2.0、2.1、2.2、2.4、2.6 が選ばれているときです。ガンマ 7 ～ 10、「切」は調整できません。 |
| | **カラーコレクション**<br>**「入」**：色再現の中間域を、選択しているカラースペースに応じて補正します。<br>**「切」**：カラーコレクション機能をオフにします。 |

| | |
|---|---|
| エキスパート設定 | **クリアホワイト**<br>**お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。**<br>**「強」、「弱」**：クリアホワイトの効果を変更できます。<br>**「切」**：クリアホワイト機能をオフにします。 |
| | **x.v.Color**<br>**x.v.Color 映像信号を再生する場合に設定します。**<br>x.v.Color に対応した機器をつないで、x.v.Color 映像信号を再生するときは、「入」に設定します。<br>x.v.Color について詳しくは、「x.v.Color（エックスブイ・カラー）について」（☞ 75 ページ）をご覧ください。<br>**ちょっと一言**<br>x.v.Color が「入」のときは、ガンマ補正は調整できません。 |
| | **カラースペース [COLOR SPACE]**<br>**色空間を切り換えます。**<br>**「BT.709」**：ハイビジョン放送やブルーレイディスクに用いられる HDTV 規格 ITU-R BT.709 の色空間です。sRGB と同等の色空間となります。<br>**「DCI」**：DCI 仕様（☞ 75 ページ）に準じた色空間です。<br>**「Adobe RGB」**：sRGB より広い色再現領域を持つ Adobe RGB に近似した色空間で、Adobe RGB 規格で記録した映像の表示に適しています。<br>**「カラースペース 1」**：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した色空間です。<br>**「カラースペース 2」**：リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した色空間です。<br>**「カラースペース 3」**：リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した色空間です。 |

# スクリーン設定メニュー

入力信号や画面のサイズ、アスペクト切り換えなどを設定できます。




**ご注意**

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（☞ 95 ～ 98 ページ）をご覧ください。

[ ] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

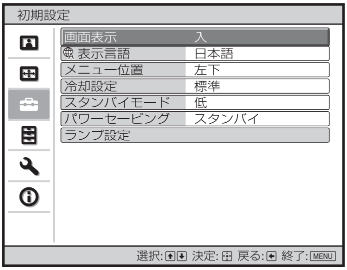
| | |
|---|---|
| **ピクチャーポジション [POSITION]** | **レンズの設定とアスペクト比の組み合わせを 5 つまで保存することができます。**<br>**レンズとアスペクトを設定後、調整したスクリーン画角に合わせて「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム 1」～「カスタム 3」の中からお好みのポジションを選択、確定したあと、「保存」、「削除」、または「選択」を行ってください。**<br>**「保存」：**現在のレンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）を、選択したポジションに保存します。すでに調整状態が保存されている場合は上書きします。<br>**「削除」：**保存されている調整状態を削除します。削除されると、「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム 1」～「カスタム 3」の表示が「---」に変わります。<br>**「選択」：**選択したポジションが呼び出されます。<br>**ちょっと一言**<br>各ピクチャーポジションには、最適なアスペクトがあらかじめ登録されています。これらのアスペクトはピクチャーポジションごとに変更、保存することができます。 |

| | |
|---|---|
| **ピクチャーポジション [POSITION]** | **ご注意**<br>・ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に触れないでください。けがや故障の原因になります。<br>・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。<br>・ピクチャーポジション機能を使って 2.35:1 と 16:9 のスクリーン画角を併用する場合は、本機の設置位置にご注意ください。（☞ 39 ページ）<br>・ピクチャーポジション機能は、レンズ調整状態の再現を 100% 保証するものではありません。 |
| **アスペクト [ASPECT]** | **入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します（☞ 40 ページ）。動画信号入力時（メモリーナンバー 3 ～ 14、93、94、95）（☞ 92 ページ）の場合のみ設定できます。**<br>**「1.85:1 ズーム」：** 1.85:1 映像の上下の黒帯が表示されないように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。<br>**「2.35:1 ズーム」：** 2.35:1 映像の上下の黒帯の表示範囲が小さくなるように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。<br>「🔧 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「2.35:1 ズーム」を選ぶと、TRIGGER1/TRIGGER2 端子から 12 V の信号が出力されます（☞ 63 ページ）。<br>**「ノーマル」：** 入力映像の縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。<br>1.78:1（16:9）、1.33:1（4:3）映像におすすめの設定です。<br>**「ストレッチ」：** 1.33:1（4:3）にスクイーズされた映像を 1.78:1（16:9）の縦横比で映します。<br>**「V ストレッチ」：** 市販のアナモフィックレンズを用いて、2.35:1 映像を 2.35:1 スクリーンで見る場合に最適なモードです。<br>「🔧 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「V ストレッチ」を選ぶと、TRIGGER1/TRIGGER2 端子から 12 V の信号が出力されます（☞ 63 ページ）。 |

| | |
|---|---|
| **アスペクト<br>[ASPECT]** | **「スクイーズ」：**市販のアナモフィックレンズを用いて、1.78:1（16:9）や 1.33:1（4:3）映像を見る場合に、正しい縦横比で映します。<br>**ちょっと一言**<br>・「V ストレッチ」、「スクイーズ」選択時は、「 設置設定」メニューの「アナモフィックレンズ」で、ご使用になるアナモフィックレンズに合わせてタイプを選択してください。<br>・入力信号によって、選択できる項目が異なります。<br>・コンピューター信号入力時は、アスペクトは選択できません。 |
| **オーバースキャン** | **映像の周囲を表示するかを設定します。**<br>**「入」：**入力映像の周囲を表示しません。映像の端にノイズなどが見えるような場合にはこちらに設定します。<br>**「切」：**入力映像をすべて表示します。<br>**ちょっと一言**<br>画面の上下左右の表示領域を調整するときは「 設置設定」メニューの「ブランキング」（64 ページ）をご覧ください。 |
| **入力信号調整** | **入力信号を調整します。**<br>**「フェーズ」：**アナログコンピューター信号入力時、画素とコンピューター信号の位相を調整します。一番くっきり見える数値にします。<br>**「ピッチ」：**アナログコンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整します。数値を大きくするとサイズが大きくなり、小さくするとサイズが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値にあわせます。<br>**「シフト」：**画面の位置を調整します。<br>**「H」（水平）：**数値を大きくすると画面が右に、小さくすると画面が左に移動します。←/→ ボタンを押して設定します。<br>**「V」（垂直）：**数値を大きくすると画面が上に、小さくすると画面が下に移動します。↑/↓ ボタンを押して設定します。 |

# 初期設定メニュー

お買い上げ時の設定などを変更するメニューです。

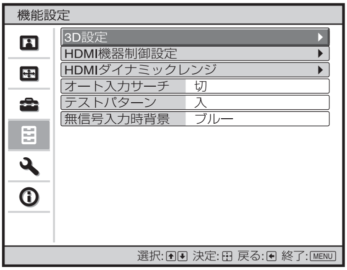



| | |
|---|---|
| 画面表示 | **メッセージなどを表示するかを設定します。**<br>「切」に設定すると、一部のメニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。 |
| 表示言語 | **メニュー画面やメッセージなどの表示言語を設定します。**<br>英語、オランダ語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、スウェーデン語、ノルウェー語、日本語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、タイ語、アラビア語から選択できます。 |
| メニュー位置 | **画面上のメニューの表示位置を変えることができます。**<br>**「左下」：**メニューを画面の左下に表示します。<br>**「中央」：**メニューを画面の中央に表示します。 |
| 冷却設定 | **気圧に応じて設定します。**<br>**「強」：**1,500 m 以上の高地で使用の場合に設定します。<br>**「標準」：**平地での使用時に設定します。<br>**ちょっと一言**<br>設定を「強」にした場合、ファンの回転数が上がるため、音が少し大きくなります。 |
| スタンバイモード | **スタンバイ時の消費電力を設定します。**<br>**「標準」：**通常の消費電力になります。<br>**「低」：**スタンバイ時の消費電力を少なくします。<br>**ちょっと一言**<br>設定を「低」にした場合、「HDMI 機器→ PJ 電源連動」制御が無効になり、動作しません（メニューにも表示されません）。また、スタンバイ時はネットワーク機能は動作しません。 |

| | |
|---|---|
| **パワー<br>セービング<br>（節電モード）** | **パワーセービングを設定します。**<br>**「ランプオフ」：** 本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、コントロールパネル、またはリモコンのボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY ランプはオレンジ色に点灯します。（☞ 13 ページ）<br>**「スタンバイ」：** 本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。<br>**「切」：** パワーセービング機能を無効にします。 |
| **ランプ設定** | **光源用ランプ交換をしたときに、設定します。（☞ 86 ページ）** |

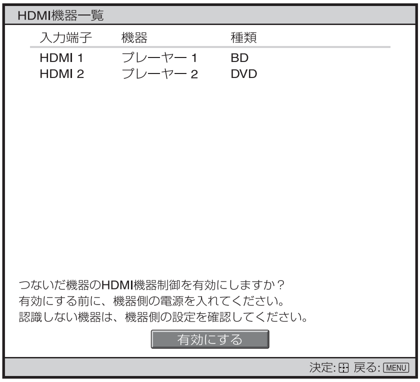
# 機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。




| | |
|---|---|
| 3D 設定 | **3D に関する設定を変更できます。**<br>**「2D-3D 表示選択」：** 映像の表示を 2D と 3D に切り換えます。<br>**「オート」：** 3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力したときは 3D で表示し、それ以外の信号のときは 2D で表示します。<br>**「3D」：**「3D フォーマット」で選択した 3D 方式で表示します。ただし、3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力した場合は、信号に含まれる 3D 情報の形式に従って表示します。<br>**「2D」：** 常に 2D で表示します。<br>* 3D 情報とは、3D を識別する付加情報です。HDMI 信号には、3D を識別する付加情報が含まれる信号と、含まれない信号があります。<br>**「3D フォーマット」：** 3D 情報を含まない信号を受信したとき、どのフォーマットに従って映像を 3D 表示するかを設定します。<br>**「シミュレーテッド 3D」：** 通常の 2D 映像を 3D 映像に変換します。HD 信号のときのみ設定可能です。<br>・映像ソースによっては 3D 効果が現れにくい場合があります。<br>・3D 映像の見えかたには個人差があります。<br>**「左右分割方式」：** 類似の映像が左右に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。<br>**「上下分割方式」：** 類似の映像が上下に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。<br>**「3D 明るさ」：** 3D 表示時の画面の明るさを調整します。「明」「標準」の 2 段階から選択できます。 |

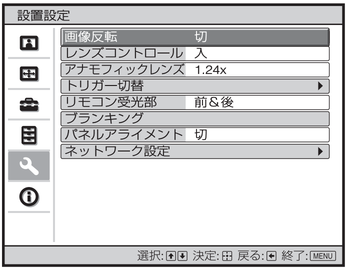
| | |
|---|---|
| **3D 設定** | **「3D 奥行き調整」**：画面上の 3D 表示の奥行きを調整します。「シミュレーテッド 3D」以外の方式で 3D 表示している場合に調整できます。<br>**奥行き感　－２　－1　０　+1　＋２**<br>**手前　←　通常　→　奥**<br>通常は「0」がおすすめです。設定によっては 3D として見えにくくなります。<br>**「シミュレーテッド 3D 効果」**：2D コンテンツを 3D に変換しているときの 3D 効果を調整します。「強」「中」「弱」の３段階から選択できます。<br>**ちょっと一言**<br>・映像のソースによっては「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定できません。対応している 3D 信号については「対応 3D 信号一覧」（☞ 97 ページ）をご覧ください。<br>・スクリーンサイズ（100 ～ 120 インチを推奨）や映像のソースによっては 3D 効果が現れにくいことがあります。<br>・シミュレーテッド 3D 機能による 3D 映像の見えかたには個人差があります。<br>・3D 表示中は、メニュー画面が二重に見える場合があります。その場合は、3D メガネをかけてメニュー画面を操作してください。 |
| **HDMI 機器制御設定** | **HDMI 機器制御に関する設定を変更できます。**<br>**「HDMI 機器制御」**：HDMI 1、2 入力端子に HDMI 制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI 機器制御を有効にするかどうかを設定します。<br>「入」に設定すると、以下のことができます。<br>・ つないでいる HDMI 機器制御対応機器と本機との間で、連動した操作ができるようになります。<br>・「HDMI 機器制御設定連動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も連動して有効になります。<br>**「PJ → HDMI 機器電源連動」**：本機の電源を切るときに、つないでいる HDMI 機器制御対応機器の電源も連動して切るかどうかを設定します。<br>「入」に設定すると、本機の電源を切ると機器の電源も連動して切れます。<br>**「HDMI 機器→ PJ 電源連動」**：本機の電源を、つないでいる HDMI 機器制御対応機器に連動させることができます。<br>「入」に設定すると、つないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をすると、本機の電源も自動的に入ります。 |

| | |
|---|---|
| HDMI 機器<br>制御設定 | **ちょっと一言**<br>「入」にする場合は、「初期設定」メニューの「スタンバイモード」（☞ 57 ページ）を「標準」に設定してから、「HDMI 機器→PJ 電源連動」を「入」にしてください。詳しくは「HDMI 機器制御について」（☞ 74 ページ）をご覧ください。<br>**「HDMI 機器一覧」：** つないでいる HDMI 機器制御対応機器を一覧表示します。<br>「有効にする」を選ぶと、「HDMI 機器制御設定連動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も有効になります。<br><br><br>*「HDMI 機器制御設定連動」は、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、HDMI 入力端子につないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効にする機能です。ソニー製以外の機器では対応していません。 |
| HDMI ダイナミックレンジ | **HDMI1、2 端子に RGB フォーマット信号を入力しているときの映像入力レベルを設定します。**<br>**「オート」：** 自動で映像入力レベルを判別します。<br>**「リミテッド」：** 映像入力レベルが、16-235 のときに設定します。<br>**「フル」：** 映像入力レベルが、0-255 のときに設定します<br>**ご注意**<br>HDMI 接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。 |
| オート入力<br>サーチ | **映像信号がある入力のみを選択するようにできます。**<br>「入」に設定すると、INPUT ボタンを押したとき表示される入力選択パレットには、信号のない入力は表示されません。<br>すべての入力を表示させるときは「切」に設定します。（☞ 33 ページ） |

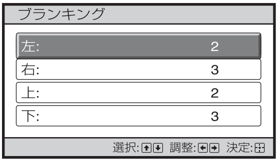
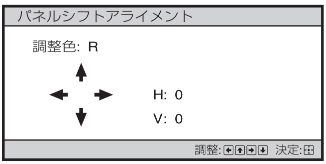
| | |
|---|---|
| **テストパターン** | **テストパターン表示の有無を選択します。**<br>**「入」：** レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時に、テストパターンが表示されます。<br>**「切」：** テストパターンが表示されません。<br><br>**ちょっと一言**<br>テストパターン表示時は、フォーカスが合わせやすいように緑単色の表示となります。 |
| **無信号入力時背景** | **信号が入力されていないときの画面の色を選択できます。**<br>「ブラック」または「ブルー」に設定できます。 |

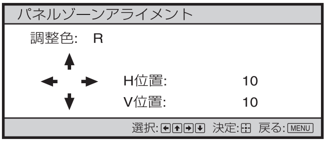
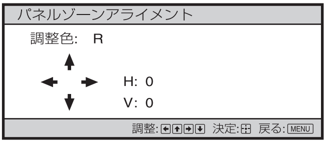
# 設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。




| | |
|---|---|
| **画像反転** | **画像を水平または垂直方向に反転します。**<br>**「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」** があり、天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。 |
| **レンズコントロール** | **レンズ関連の調整（「レンズフォーカス」、「レンズズーム」、「レンズシフト」）を誤って変更しないようにします。**<br>**「入」：** レンズの調整ができます。<br>**「切」：** レンズの調整ができません。 |
| **アナモフィックレンズ** | **アナモフィックレンズの変換倍率に合わせて選択します。**<br>**「1.24x」：** 水平 1.24 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。<br>**「1.32x」：** 水平 1.32 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。 |
| **トリガー切替** | **TRIGGER（トリガー）1/TRIGGER2 端子の出力機能を切り替えます。**<br>**「切」：** トリガー端子の機能をオフにします。<br>**「電源」：** 本機の電源が入っているとき、TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。本機の電源がオフのときは、信号は出力されません。<br>**「V ストレッチ」：**「アスペクト」（☞ 55 ページ）の「V ストレッチ」選択時に連動して TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。<br>**「2.35:1 ズーム」：**「アスペクト」（☞ 55 ページ）の「2.35:1 ズーム」選択時に連動して TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。 |

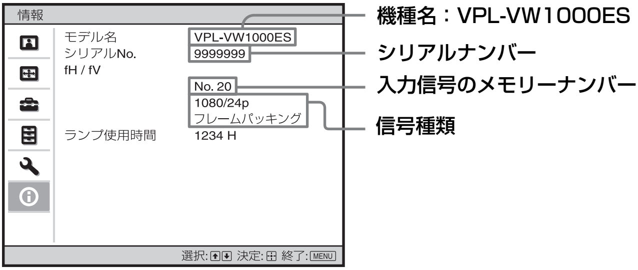
| | |
|---|---|
| **リモコン受光部** | **リモコンの効きが悪いとき、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り換えます。**<br>**「前＆後」：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。<br>**「前」：**前面のリモコン受光部のみを働かせるとき。<br>**「後」：**後面のリモコン受光部のみを働かせるとき。 |
| **ブランキング** | **画面の上下左右の表示領域を調整します。**<br>↑/↓ ボタンで変更をしたいスクリーンの側面を「左 / 右 / 上 / 下」の中から選択します。<br>←/→ ボタンでブランキング量を調整します。<br><br>**ちょっと一言**<br>アスペクト設定によっては、左右にブランキングがかからない場合があります。 |
| **パネルアライメント** | **文字や映像の色ずれを微調整します。**<br>「入」にすると、「調整色」の指定や「調整パターン色」の指定を行い調整することができます。<br>**「調整アイテム」：**調整方法を以下より選択します。<br>**「シフト」：**画面全体をシフトして調整します。<br>**「ゾーン」：**調整したい範囲を指定して調整します。<br>**「調整色」：**色ずれの気になる色を指定します。「G」( 緑 ) を基準に調整するため、「R」( 赤 ) または「B」( 青 ) を選択します。<br>**「調整パターン色」：**「調整色」が「R」( 赤 ) の場合は、「R/G」( 赤と緑 ) または「R/G/B」( 白、全色 ) を選択します。「調整色」が「B」( 青 ) の場合は、「B/G」( 青と緑 ) または、「R/G/B」( 白、全色 ) を選択します。<br>**「調整」：**「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、←/→、↑/↓ ボタンで行います。<br>**「シフト」選択時：**シフト調整画面で ←/→ ボタンで水平方向（H)、↑/↓ ボタンで垂直方向（V）の調整量を設定します。<br> |

| | |
|---|---|
| **パネルアライメント** | **「ゾーン」選択時：**調整する位置を、←/→ ボタンで水平位置（H 位置）、↑/↓ ボタンで垂直位置（V 位置）を選択し、⊕ ボタンを押します。<br><br><br>←/→ ボタンで水平方向（H 方向）、↑/↓ ボタンで垂直方向（V 方向）の調整量を設定します。⊕ ボタンを押すと、調整する位置を再度選択できます。<br><br><br>**「リセット」：**設定がお買い上げの時の値に戻ります。<br>**ご注意**<br>調整値によっては、色付きや解像感に変化が生じる場合があります。 |

| | |
|---|---|
| **ネットワーク設定** | **インターネットプロトコル設定を行います。**<br>パソコンからアクセス（☞ 69 ページ）したり、付属のガンマコントロール調整ソフトウェア「ImageDirector3」を使用する場合に設定します。<br>**「IP アドレス設定」**：IP アドレスの設定方法を選択します。<br>**「自動（DHCP）」**：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。<br>**「手動」**：手動でネットワークを設定します。<br><br>「IP アドレス設定」で「手動」を選択したときには、←/→ ボタンで入力する値を選び、↑/↓ ボタンで値を入力します。全ての設定が終了したら、「適用」を選び、⊕ ボタンを押すと設定が有効になります。<br><br>**「IP アドレス」**：本機の IP アドレスを設定します。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）<br>**「サブネットマスク」**：本機のサブネットマスクを設定します。（1.0.0.0 ～ 255.255.255.255）<br>**「デフォルトゲートウェイ」**：本機のデフォルトゲートウェイを設定します。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）<br>**「プライマリ DNS」**：優先して使用する DNS サーバーを設定します。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）<br>**「セカンダリ DNS」**：代替の DNS サーバーを設定します。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）<br>**「MAC アドレス」**：本機の MAC アドレスを表示します。変更はできません。 |

# ⓘ 情報メニュー

本機の機種名、シリアルナンバー、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。




| | |
|---|---|
| **モデル名** | 機種名（VPL-VW1000ES）を表示します。 |
| **シリアル No.** | シリアルナンバーを表示します。 |
| **fH（水平周波数）** | 水平周波数を表示します。 |
| **fV（垂直周波数）** | 垂直周波数を表示します。 |
| **メモリーナンバー** | 入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示します。 |
| **信号種類** | 入力信号の解像度を表示します。入力信号に 3D 情報が含まれている場合は、解像度と 3D フォーマットの形式を表示します。 |
| **ランプ使用時間** | ランプの使用時間を累積して表示します。 |

**ご注意**

・fH（水平周波数）と fV（垂直周波数）は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
・上記の項目は調整や変更できません。

## プリセットメモリーについて

本機では、お買い上げ時に、35 種類の信号に対して最適な表示となるよう映像データがあらかじめ設定されています（プリセットメモリー）。これらの信号を入力したときは、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な映像でスクリーンに映します。「情報」メニューの画面に入力信号のメモリーナンバーと信号種類が表示されます。
プリセットされたデータを「スクリーン設定」メニューでさらに調整できます。
また、プリセットメモリーとは別に、アナログコンピューター信号用に 20 個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号の設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力されたときは、メモリーナンバー 0 と表示され、「スクリーン設定」メニューの「入力信号調整」から設定を更新すると、本機に登録されます。登録数が 20 個を超えると、古いデータから順番に上書きされます。
プリセットされている信号についての情報は、「プリセット信号一覧」にあります。（☞ 92 ページ）

**ご注意**

入力するコンピューター信号によっては、画面の一部が欠けたり正しく表示されない場合があります。

# ネットワーク機能を利用する

本機をネットワークに接続することで、以下のことができます。

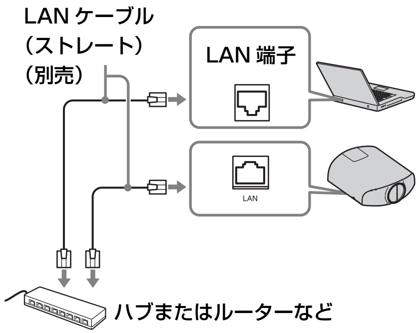
・ウェブブラウザを利用して本機の現在の状況を確認する。
・ウェブブラウザを利用して本機を遠隔操作する。
・本機からメールレポートを受け取る。
・本機のネットワーク設定を行う。
・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk 、AMX DDDP （Dynamic Device Discovery Protocol)）に対応。
・付属のガンマコントロールソフトウエア「ImageDirector3」を使用する。

**ご注意**

・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
・表示可能言語は英語のみです。
・コンピューターから本機にアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

# ウェブブラウザで本機のコントロール画面を開く

**1** LAN ケーブルをつなぐ。




**ご注意**

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。

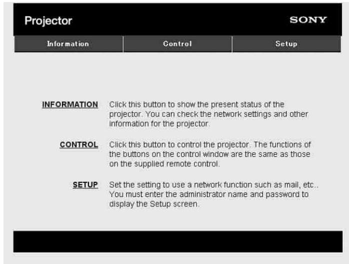
**2** **本機のネットワーク設定を行う。**

「🔧 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で本機のネットワーク設定を行ってください。（☞ 66 ページ）

**3** **ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し Enter キーを押す。**

http://xxx.xxx.xxx.xxx
（xxx.xxx.xxx.xxx：本機の IP アドレス）
本機の IP アドレスは、「🔧 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で確認できます。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。




一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 **3** の操作だけでコントロール画面を表示できます。

# コントロール画面を操作する

## ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。




ページ切換えボタン

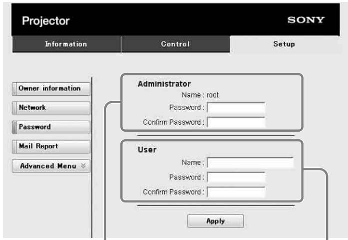
## アクセス制限を設定する

各ページの利用者を次のように制限できます。

**管理者**：すべてのページにアクセス可能。

**ユーザー**：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。
初めて、Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。
なお、管理者の名前は「root」に固定されています。




「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

**ご注意**

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

## 本機の状態を確認する

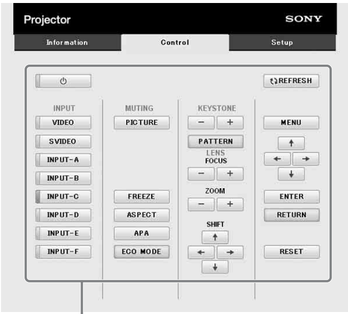
Information ページを開くと、本機の現在の状態を確認できます。




情報エリア

## 本機を操作する

Control ページから本機を操作します。




操作エリア

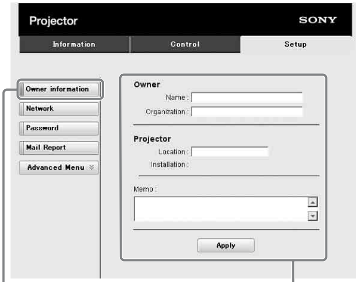
各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

## メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。
Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

**1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。**

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。




Owner information ボタン

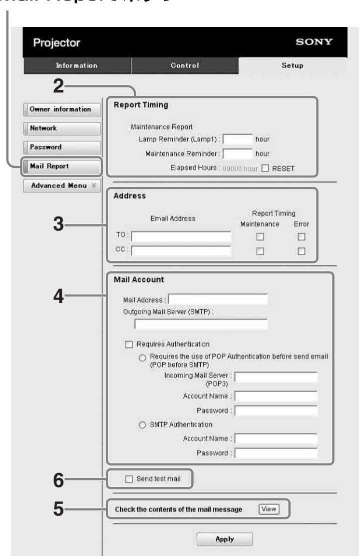
1

**2 メールレポートのタイミングを設定する。**

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

**Lamp Reminder（Lamp1）**：ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプ設定初期化を実行するとリセットされます。（☞ 58 ページ）

**Maintenance Reminder**：任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。




**3　送信先メールアドレスを入力する。**

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

**4　メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。**

**Mail Address**：メールアドレスを入力します。

**Outgoing Mail Server (SMTP)**：送信メールサーバー（SMTP）のアドレスを入力します。

**Required Authentication**：メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

**Requires the use of POP Authentication before send e-mail（POP before SMTP）**：メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

**Incoming Mail Server (POP3)**：POP3 認証で使用される受信メールサーバー（POP3）のアドレスを入力します。

**Account Name**：アカウント名を入力します。

**Password**：パスワードを入力します。

**SMTP Authentication**：メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

**Account Name**：アカウント名を入力します。

**Password**：パスワードを入力します。

**5　メールレポートの内容を確認する。**

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

**6　テストメールを送信する。**

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

**ご注意**

- Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- 文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

# その他

ここでは、その他の機能や、本機が正常に動かないときに解決する方法、光源用ランプの交換のしかたなどについて説明します。

## HDMI 機器制御について

### HDMI 機器制御とは

HDMI 機器制御とは、HDMI で規格化されている HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った、機器間相互制御の機能です。HDMI 機器制御対応のテレビやプロジェクターに、ハードディスク搭載ブルーレイディスク（BD）プレーヤー／レコーダー、DVD プレーヤー / レコーダー、AV アンプなどを HDMI ケーブルでつなぐだけで、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

### HDMI 機器制御を使うには

- 対応機器それぞれで正しい接続と設定をしてください。
- 対応機器の主電源を切らないでください。
- 本機で､対応機器を接続した HDMI 入力に切り換えてください。
- 本機で、対応機器の映像が正常に出ることを確認してください。

### 対応機器をつなぐ

HDMI ケーブルでつなぎます。接続には、HDMI ロゴがついているものをお使いください。

### HDMI 機器制御の設定をする

HDMI 機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれの設定が必要です。本機の設定については、60 ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。「HDMI 機器制御設定連動」に対応している機器を HDMI 入力端子につないでいるときは、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、つないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効になります。

### HDMI 機器制御でできること

- つないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をするだけで、本機の電源が入り、入力も自動で切り換わります。
- 本機の電源を切るだけで、つないだ機器の電源を自動的に切ることができます。

**ご注意**

- HDMI 機器制御できることは機器によって異なります。それぞれ機器の取扱説明書でご確認ください。
- 同様の機能を搭載した他社製機器との間でも動作する場合もありますが、保証されたものではありません。

## DCI 仕様について

DCI 仕様とは、デジタルシネマ上映システムの仕様で、ハリウッド映画6大スタジオで構成される業界標準化団体DCI（Digital Cinema Initiative）で制定されたものです。

## x.v.Color（エックスブイ・カラー）について

- “x.v.Color”とは、xvYCC 規格に対応し、従来以上の広色域表現が可能な機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC 規格とは、ビデオ映像信号の色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

## シミュレーテッド 3D 機能について

- シミュレーテッド 3D 機能を使うと、本機は2D 映像を3D表示へ映像変換を行います。そのため、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、シミュレーテッド 3D 機能をお使いください。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいて、シミュレーテッド機能を利用して 2D 映像を3D表示に変換した場合、著作権法上保護されている著作者の権利を害する恐れがあります。

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

### 電源に関する項目

| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| 電源が入らない。 | → I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンで電源を切った後すぐに電源を入れた場合に、電源が入らないことがあります。<br>約 1 分たってから電源を入れてください。<br>→ 光源用ランプカバーをしっかりはめて、ネジをしめてください。（☞ 85 ページ）<br>→ 警告ランプを確認してください。（☞ 80 ページ） |
| 突然電源が切れた。 | →「 初期設定」メニューの「パワーセービング」の設定が「スタンバイ」になっていないか確認してください。（☞ 58 ページ）<br>→「パワーセービング」を「切」に設定してください。 |

### 映像に関する項目

| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| 映像が映らない。 | → 再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。（☞ 28 ページ）<br>→ INPUT ボタンで入力を正しく選んでください。<br>（☞ 33 ページ）<br>→ コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。<br>→ ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。 |
| 映像が 2 重に見える | → 3D 表示されています。3D メガネを使用してご覧ください。（☞ 35 ページ）または、「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定してください。（☞ 59 ページ） |
| 明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなり過ぎる。 | → HDMI規格からはずれたRGB信号レベルで入力されたときに症状が出る場合があります。つないだ機器の RGB 出力レベルを切り換えるか、本機の HDMI ダイナミックレンジを切り換えてください。（☞ 61 ページ） |

| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| 画面が暗い。 | →「画質設定」メニューで「コントラスト」、「明るさ」を正しく設定してください。（☞ 50 ページ） |
| 画面がぼやける。 | → 画面のフォーカスを合わせてください。（☞ 23 ページ）<br>→ 結露が生じました。電源を入れたまま約 2 時間放置してください。 |
| 画面がちらつく。 | → アナログコンピューター信号入力の場合は、「スクリーン設定」メニューの「入力信号調整」で「フェーズ」を調整してください。（☞ 56 ページ） |
| 文字や映像の色ずれが気になる。 | →「設置設定」メニューの「パネルアライメント」で調整してください。（☞ 64 ページ） |
| 画面に残像が現れる。 | → 画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を長時間表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。いったん電源を切り、しばらくすると残像は自然に消えます。 |

### 表示に関する項目

| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| 画面表示が出ない。 | →「初期設定」メニューで「画面表示」の設定を「入」にしてください。（☞ 57 ページ）<br>→ ON/STANDBY ランプが緑に点滅していないか確認してください。緑色に点滅しているときは本機が起動途中です。緑色の点灯に変わるまでお待ちください。 |
| 画面にモデル名が表示され続ける。 | → お買い上げ時に本機の展示モードが設定されていることがあります。お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。 |
| 入力端子が表示されない。 | →「機能設定」メニューで「オート入力サーチ」の設定を「切」にしてください。（☞ 61 ページ） |

その他

## リモコンに関する項目

| 症状 | 原因と対処 |
| --- | --- |
| リモコンが働かない。 | ➔ 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。（☞ 16 ページ）<br>➔ 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。（☞ 16 ページ）<br>➔ リモコン受光部の近くに蛍光灯があると誤動作することがあります。<br>➔ 別売りの 3D シンクロトランスミッターを使用している場合、3D シンクロトランスミッターを本機のリモコン受光部に向けるとリモコンが働きにくくなることがあります。<br>➔ 本機のリモコン受光部の位置を確認してください。（☞ 13 ページ）<br>➔「🔧 設置設定」メニューで「リモコン受光部」の設定を「前＆後」にしてください。（☞ 64 ページ） |

## 3D に関する項目

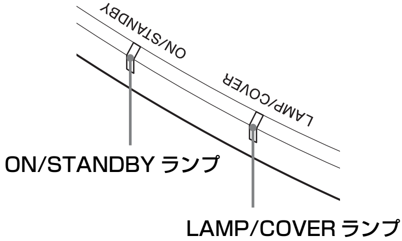
| 症状 | 原因と対処 |
| --- | --- |
| 映像が 3D に見えない | ➔ 3D メガネの電源が入っているか確認してください。（☞ 35 ページ）<br>➔ 3D メガネが充電されているか確認してください。<br>➔ 入力が HDMI になっているか確認してください。<br>➔「2D-3D 表示選択」を「オート」または「3D」に設定してください。（☞ 59 ページ）<br>➔ 3D 対応の信号か確認してください。（☞ 97 ページ）<br>➔ 再生する機器の仕様などにより、本機に 3D 信号が入力されない場合があります。その場合は、再生する機器を再起動したり、もう一度再生操作を行ったりしてください。<br>➔ 視聴位置または本機の配置がスクリーンからが離れすぎている場合は 3D メガネが動作しにくくなります。（☞ 36 ページ）<br>➔ 別売りの 3D シンクロトランスミッターを使用している場合、正しく配置されているか確認してください。（☞ 31 ページ）<br>➔ スクリーンサイズが適切でない可能性があります。レンズズームの倍率を小さくするか、スクリーンから離れて視聴してください。（☞ 103 ページ） |

## その他

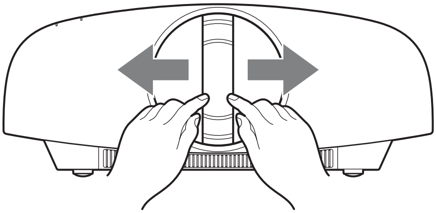
| 症状 | 原因と対処 |
| --- | --- |
| ファンの音が気になる。 | ➔「冷却設定」を確認してください。（☞ 57 ページ）<br>➔ 室温が高くないか確認してください。<br>➔ 本機の設置条件を確認してください。（☞ 18 ページ）<br>部品の信頼性を保つために、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、音が大きくなります。常温の目安は25 ℃ です。 |
| レンズシフトが動かない。 | ➔ レンズシフトは可動範囲を超える方向へは動きません。可動範囲内でご使用ください。（☞ 26、102 ページ） |
| 本体と接続機器の電源が連動して ON/OFF したり、再生したりする。 | ➔「HDMI 機器制御」、「HDMI 機器→ PJ 電源連動」、「PJ → HDMI 機器電源連動」が「入」になっています。設定を「切」にしてください。<br>詳しくは「HDMI 機器制御設定」（☞ 60 ページ）をご覧ください。 |

## 警告ランプ

本機では、本体前面の ON/STANDBY ランプと LAMP/COVER ランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。




| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| LAMP/COVER 赤色点滅（2 回点滅パターンの繰り返し） | → 光源用ランプカバーをしっかりはめて、ネジをしめてください。（☞ 85 ページ） |
| LAMP/COVER 赤色点滅（3 回点滅パターンの繰り返し） | → ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。<br>→ 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください。（☞ 84 ページ） |
| ON/STANDBY 赤色点滅（4 回点滅パターンの繰り返し） | → ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。 |
| ON/STANDBY 赤色点滅（2 回点滅パターンの繰り返し） | → 本体内部が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。 |
| ON/STANDBY 赤色点滅（6 回点滅パターンの繰り返し） | → I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押して電源を入れてください。電源が入らない場合は、電源コードを抜いて ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。約 10 秒たってから、電源コードを差してもう一度電源を入れてください。それでもこの状態が続いたら、電気系統が故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。 |

| 症状 | 原因と対処 |
|---|---|
| ON/STANDBY 赤色点滅（5回点滅パターンの繰り返し） | → レンズプロテクターが完全に開いていません。もう一度電源を入れ直してください。それでも直らない場合はソニーの相談窓口にご相談ください。<br><br>**ちょっと一言**<br>緊急で使用する場合は、レンズプロテクターを手で開いてください。（下図参照）I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押すと電源が入り、使用することができます。<br> |

**ご注意**

上記以外の警告ランプ点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

## メッセージ一覧

### 警告メッセージ

| メッセージ | 意味と対処 |
|---|---|
| 「セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。」 | ➔ 電源を切ってください。<br>➔ 排気口、吸気口をふさいでいないか確認してください。<br>（☞ 19 ページ） |
| 「入力信号の周波数が対応範囲をこえています！」 | ➔ 入力信号の周波数範囲を超えています。対応範囲内の信号を入力してください。（☞ 92 ページ） |
| 「ランプを交換してください。」 | ➔ 光源用ランプの交換時期がきました。光源用ランプを交換してください。（☞ 84 ページ）<br>➔ 光源用ランプ交換後も表示される場合は、光源用ランプを交換するときの手順を確認してください。（☞ 84 ページ）<br>**ご注意**<br>画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルの任意のボタンを 1 回押してください。 |
| 「本機内部の温度が高くなっていますので、冷却設定を強に切り替えます。高地でご使用の際は、冷却設定は強でお使いください。」 | ➔ 本機の吸排気口が塞がっていないか確認してください。<br>（☞ 19 ページ）<br>➔ 高地で使用しているときは、冷却設定を「強」にしてください。（☞ 57 ページ）<br>**ご注意**<br>機内部温度が下がらないと、1 分後に冷却設定が「強」に切り換わり、ファンの回転数があがります。 |
| 「パワーセービングが設定されています。1 分後に自動的にランプオフします。」 | ➔「パワーセービング」が「ランプオフ」に設定されています。<br>（☞ 58 ページ）<br>**ご注意**<br>入力信号がない場合、1 分後にランプがオフします。 |
| 「パワーセービングが設定されています。1 分後に自動的にスタンバイになります。」 | ➔「パワーセービング」が「スタンバイ」に設定されています。<br>（☞ 58 ページ）<br>**ご注意**<br>入力信号がない場合、1 分後に電源がオフし、スタンバイ状態となります。 |

## 注意メッセージ

| メッセージ | 意味と対処 |
|---|---|
| x⊡ | ➔ 選択されている入力端子に何も入力されていません。接続を確認してください。（☞ 28 ページ） |
| 「無効キーが押されました！」 | ➔ 正しいボタンで操作してください。<br>➔ 操作を受け付けないボタンを押しました。 |

その他

# 光源用ランプを交換し吸気口を掃除する

光源用ランプには寿命があります。画面が暗くなったり色がおかしくなった場合、または画面に「ランプを交換してください。」というメッセージが出たときは、光源用ランプが消耗しています。新しい光源用ランプ（別売り）と交換してください。

**用意するもの：**

- **プロジェクターランプ　LMP-H330（別売り）**
- **標準プラスドライバー**
- **布（傷防止）**

**⚠警告**

- I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンで電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプを充分に冷やすため、光源用ランプ交換は、本機の電源を切ってから 1 時間以上たってから行ってください。
- 交換ランプのガラス面は触らないでください。もし汚れが付着した場合は乾いた柔かい布でふき取ってください。
- 天井つりした状態での光源用ランプ交換は十分注意してください。
- 天井つりした状態で光源用ランプを交換するときは、ランプカバーの斜め下に立ち、ランプドア（内蓋）をはずすときはなるべく傾けないでください。万一光源用ランプが破裂している場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。
- 光源用ランプを取り出すときは、光源用ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。光源用ランプを傾けて持つと、万一光源用ランプが破損した場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

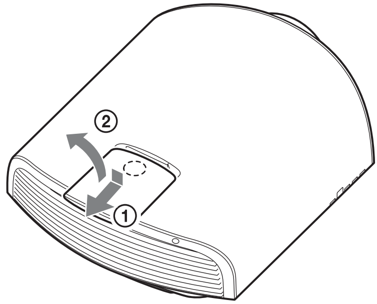
**1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

**2 床置きの場合は本機や机などに傷がつかないように布などを敷き、本機を布の上に置く。**

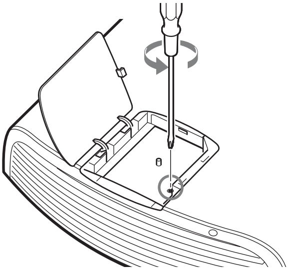
**ご注意**

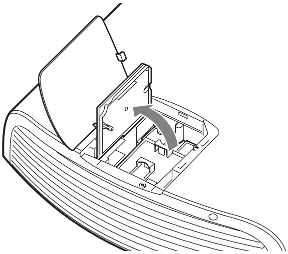
本機は不安定な場所には置かないでください。

**3 光源用ランプカバーの図の◌部分を押しながらカバーをずらし（①）、光源用ランプカバーを開ける（②）。**

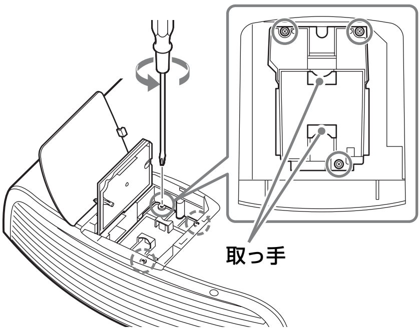



**4 ランプドア（内蓋）を固定しているネジ（1 か所）をプラスドライバーでゆるめ、ランプドアを開ける。**





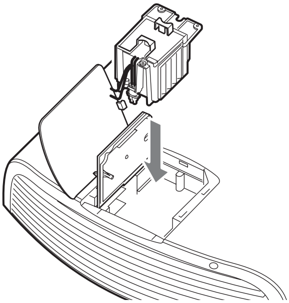
**5** 光源用ランプを固定しているネジ（3か所）をプラスドライバーでゆるめ、取っ手を持って光源用ランプを上に引き出す。




**ご注意**

光源用ランプは取っ手を持って、取りはずし、取り付けを行ってください。

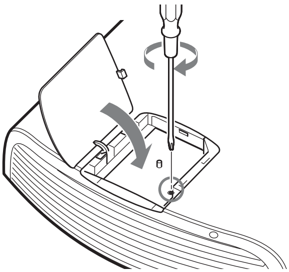
**6** 新しい光源用ランプの取っ手を持って奥まで確実に押し込み、ネジ（3 か所）を締める。



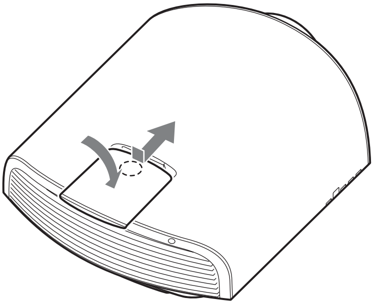
**ご注意**

光学ブロックには手をふれないでください。

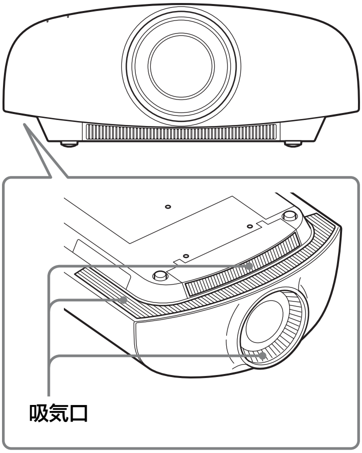
**7** ランプドア（内蓋）を閉め、ネジを締める。



**8** 光源用ランプカバーを閉める。

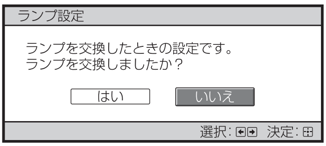


**9** 吸気口に付着したほこりをやわらかい布でふきとる。

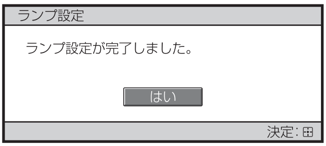



**10** **本機の電源を入れ、「初期設定」メニューのランプ設定項目を選択する。**

以下のようなメニュー画面が表示されます。




**11** **「はい」を選択する。**




**⚠警告**

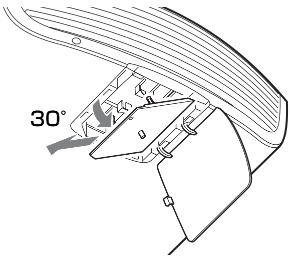
光源用ランプをはずしたあとのランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

**ご注意**

・新しい光源用ランプは、必ず交換用ランプ LMP-H330 をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
・光源用ランプを交換する前に必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。
・光源用ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
・光源用ランプカバーが確実に閉まっていないと、電源が入りません。
・画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルのいずれかのボタンを押してください。

### 天井つり状態での不点灯ランプ交換時のご注意

光源用ランプの破損時に発生した光源用ランプの破片が飛び、けがの原因となることがあります。
天井つりした状態のときは、ランプドア（内蓋）を 30 度ほど開いた状態で少しランプドア（内蓋）を持ち上げてからゆっくりと横にスライドしてはずします。ランプドア（内蓋）をなるべく傾けないようにしてください。



**お願い**

本機の光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済みの光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄のルールに従って廃棄してください。

# 本機のお手入れと画面について

### 外装のお手入れについて

- 外装の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

### 輝点・滅点について

本機は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。
また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、本機の構造によるもので、故障ではありません。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

### それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも、長時間使用による消耗部品の交換は有料になる場合があります。
詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では本取扱説明書に記載しているすべての製品と部品（製品補修用性能部品を含む）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

**製品：VPL-VW1000ES**
**製造番号：本体側面または保証書に記載されています。**
**故障の状態：できるだけくわしく**
**購入年月日：**

| **お買い上げ店** |
| --- |
| |

# 主な仕様

## システム

投写方式　SXRD パネル、
3 原色液晶シャッター投写方式

表示素子　有効表示サイズ
0.74 型（18.8 mm）SXRD
有効画素数
26,542,080 画素
（8,847,360 × 3）

投写レンズ
2.1 倍ズームレンズ（電動）
f21.3 〜 46.2 mm
F2.9 〜 3.9

光源　高圧水銀ランプ 330 W 型

画面サイズ
60 〜 300 型（1,524 mm 〜 7,620 mm）

対応デジタル信号およびアナログビデオ信号
480/60i、576/50i、
480/60p、576/50p、
720/60p、720/50p、
1080/60i、1080/50i
以下はデジタル信号（HDMI 入力端子）のみ
1080/60p、1080/50 p 、
1080/24p、
3840 × 2160/24p、
3840 × 2160/25p、
3840 × 2160/30p、
4096 × 2160/24p

対応コンピューター信号
fH：19 〜 72 kHz
fV：48 〜 92 Hz
最高解像度 1,920 × 1,080
（HDMI 入力端子のみ）
詳細は、プリセット信号一覧
をご覧ください。（☞ 92 ページ）

## 入出力端子

HDMI（2 系統）
デジタル RGB/
Y $P_B/C_B$ $P_R/C_R$

Y $P_B/C_B$ $P_R/C_R$
コンポーネント ピンジャック
同期付 Y：1 Vp-p ± 2 dB、
同期負、75 Ω 終端
$P_B/C_B$：0.7 Vp-p ± 2 dB
75 Ω 終端
$P_R/C_R$：0.7 Vp-p ± 2 dB
75 Ω 終端

INPUT A
ミニ D-sub 15 ピン
アナログ RGB：
R：0.7 Vp-p
± 2 dB、75 Ω 終端
G：0.7 Vp-p ± 2 dB、
75 Ω　終端
同期付 G/Y：1 Vp-p
± 2 dB、同期負、75 Ω 終端
B：0.7 Vp-p
± 2 dB、75 Ω 終端
SYNC/HD：複合同期入力：
TTL レベル、正負極性
水平同期入力：TTL レベル、
正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、正負極性

TRIGGER（2 系統）
ミニジャック
DC 12 V、最大 100mA

REMOTE
RS-232C:D-sub 9 ピン（凹）

LAN
RJ45、10BASE-T/
100BASE-TX

IR IN
ミニジャック

3D SYNC
RJ45 端子

## 一般

標準外形寸法（幅／高さ／奥行き）
520 mm × 200 mm × 640 mm
（突起部含まず）
質量　約 20 kg
電源　AC 100 V、4.8 A、50/60 Hz
消費電力
480 W
待機電力
3.5 W（スタンバイモード「標準」時）
0.3 W（スタンバイモード「低」時）
使用温度
5 ℃～ 35 ℃
使用湿度
35%～ 85%（結露なきこと）
保存温度
－ 20 ℃～＋ 60 ℃
保存湿度
10%～ 90%

## 付属品

リモコン RM-PJ22（1）
単 3 型乾電池（マンガン）（2）
プロジェクター用電源コード（1）
プラグホルダー（1）
AC インレットカバー（1）
3D メガネ（2）
3D メガネ用ポーチ（2）
USB 充電 AC アダプター
（AC-UD10）（1）
仕様
定格入力電圧：
AC100-240V、0.2A、50/60Hz
定格出力電圧：DC5V、1.5A
USB 充電 AC アダプター用
AC コード（1）

**ご注意**

付属の USB 充電 AC アダプター用 AC コードは、100V 専用品です。100V 以外では使用できません。

充電用 USB ケーブル（1.2m）（1）
ImageDirector3 CD-ROM（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）

## 別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-H330（交換用）
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-H10
3D メガネ
TDG-PJ1
3D シンクロトランスミッター
TMR-PJ1、TMR-PJ2

**ご注意**

- 別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。
- ここに記載されている別売りアクセサリーは、2011 年 12 月現在のものです。

本機の仕様、外観および別売りアクセサリーは改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

**ご注意**

- 表示している外形寸法、質量は概寸です。
- 付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

本機は 「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### 電源接続時のご注意

以下を満足した電源コードをお使いください。

| | |
|---|---|
| コネクタ型名 | YC-13 |
| コード型名 | VCTF |
| 定格電圧・電流 | 12 A/125 V |
| 安全規格 | 電気用品安全法 |

## プリセット信号一覧

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。

これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

| プリセットメモリーナンバー | プリセット信号（解像度） | | fH (kHz) | fV (Hz) | 同期 | H サイズ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 480/60i | 480/60i<br>(720 × 480i) | 15.734 | 59.940 | SonG/Y | – |
| 4 | 576/50i | 576/50i<br>(720 × 576i) | 15.625 | 50.000 | SonG/Y | – |
| 5 | 480/60p | 480/60p<br>(倍速 NTSC)<br>(720 × 480p) | 31.470 | 60.000 | SonG/Y | – |
| 6 | 576/50p | 576/50p<br>(倍速 PAL)<br>(720 × 576p) | 31.250 | 50.000 | SonG/Y | – |
| 7 | 1080/60i | 1035/60i<br>(1920 × 1035i)<br>1080/60i<br>(1920 × 1080i) | 33.750 | 60.000 | SonG/Y | – |
| 8 | 1080/50i | 1080/50i<br>(1920 × 1080i) | 28.130 | 50.000 | SonG/Y | – |
| 10 | 720/60p | 720/60p<br>(1280 × 720p) | 45.000 | 60.000 | SonG/Y | – |
| 11 | 720/50p | 720/50p<br>(1280 × 720p) | 37.500 | 50.000 | SonG/Y | – |
| 12 | 1080/60p | 1080/60p<br>(1920 × 1080p) | 67.500 | 60.000 | – | – |
| 13 | 1080/50p | 1080/50p<br>(1920 × 1080p) | 56.260 | 50.000 | – | – |
| 14 | 1080/24p | 1080/24p<br>(1920 × 1080p) | 26.973 | 23.976 | – | – |
| 18 | 720/60p<br>(フレームパッキング) | 720/60p<br>(1280 × 720p) | 90.000 | 60.000 | – | – |
| 19 | 720/50p<br>(フレームパッキング) | 720/50p<br>(1280 × 720p) | 75.000 | 50.000 | – | – |
| 20 | 1080/24p<br>(フレームパッキング) | 1080/24p<br>(1920 × 1080p) | 53.946 | 23.976 | – | – |
| 26 | 640 × 480 | VESA 60 | 31.469 | 59.940 | H-負<br>V-負 | 800 |
| 28 | | VESA 72 | 37.861 | 72.809 | H-負<br>V-負 | 832 |
| 29 | | VESA 75<br>(IBM M3) | 37.500 | 75.000 | H-負<br>V-負 | 840 |
| 30 | | VESA 85<br>(IBM M4) | 43.269 | 85.008 | H-負<br>V-負 | 832 |

| プリセットメモリーナンバー | プリセット信号（解像度） | | fH（kHz） | fV（Hz） | 同期 | Hサイズ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | 800 × 600 | VESA 56 | 35.156 | 56.250 | H- 正<br>V- 正 | 1024 |
| 32 | | VESA 60 | 37.879 | 60.317 | H- 正<br>V- 正 | 1056 |
| 33 | | VESA 72 | 48.077 | 72.188 | H- 正<br>V- 正 | 1040 |
| 34 | | VESA 75<br>(IBM M5) | 46.875 | 75.000 | H- 正<br>V- 正 | 1056 |
| 35 | | VESA 85 | 53.674 | 85.061 | H- 正<br>V- 正 | 1048 |
| 37 | 1024 × 768 | VESA 60 | 48.363 | 60.004 | H- 負<br>V- 負 | 1344 |
| 38 | | VESA 70 | 56.476 | 70.069 | H- 負<br>V- 負 | 1328 |
| 39 | | VESA 75 | 60.023 | 75.029 | H- 正<br>V- 正 | 1312 |
| 45 | 1280 × 960 | VESA 60 | 60.000 | 60.000 | H- 正<br>V- 正 | 1800 |
| 47 | 1280 × 1024 | VESA 60 | 63.974 | 60.013 | H- 正<br>V- 正 | 1696 |
| 50 | 1400 × 1050 | SXGA ＋ | 65.317 | 59.978 | H- 負<br>V- 正 | 1864 |
| 55 | 1280 × 768 | 1280 × 768<br>/60 | 47.776 | 59.870 | H- 負<br>V- 正 | 1664 |
| 56 | 1280 × 720 | 1280 × 720<br>/60 | 44.772 | 59.855 | H- 負<br>V- 正 | 1664 |
| 93 | 3840 × 2160/24p | 3840 × 2160/24p<br>(3840 × 2160) | 53.946 | 23.976 | － | － |
| 94 | 3840 × 2160/25p | 3840 × 2160/25p<br>(3840 × 2160) | 56.25 | 25 | － | － |
| 95 | 3840 × 2160/30p | 3840 × 2160/30p<br>(3840 × 2160) | 67.4325 | 29.97 | － | － |
| 96 | 4096 × 2160/24p | 4096 × 2160/24p<br>(4096 × 2160) | 54 | 24 | － | － |

## 入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバー

### アナログ信号

| 信号 | プリセットメモリーナンバー |
| --- | --- |
| コンポーネント信号（Y PB/CB PR/CR 端子） | 3 ～ 8、10、11 |
| コンピューター信号（INPUT A 端子） | 26、28 ～ 35、37 ～ 39、55、56 |

### デジタル信号

| 信号 | プリセットメモリーナンバー |
| --- | --- |
| コンポーネント信号（HDMI 1、2 端子） | 3 ～ 8、10 ～ 14、18 ～ 20、93 ～ 96 |
| ビデオ GBR 信号（HDMI 1、2 端子） | 3 ～ 8、10 ～ 14、18 ～ 20、93 ～ 96 |
| コンピューター信号（HDMI 1、2 端子） | 10 ～ 13*、26、32、37、45、47、50、55 |

* デジタル入力のコンピューター信号の中には、コンポーネント信号あるいはビデオ GBR 信号のプリセットメモリーナンバーとして表示される入力信号があります。

## 入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が異なります。詳しくは下の表をご覧ください。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

### 画質設定メニュー

| 項目 | 入力信号 | | |
|---|---|---|---|
| | コンポーネント信号 | ビデオ GBR 信号 | コンピューター信号 |
| リアリティークリエーション | ○ | ○ | × |
| アドバンストアイリス | ○ | ○ | ○ |
| ランプコントロール | ○ | ○ | ○ |
| フィルムプロジェクション | ○ | ○ | × |
| モーションエンハンサー | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |
| コントラスト | ○ | ○ | ○ |
| 明るさ | ○ | ○ | ○ |
| 色の濃さ | ○ | ○ | × |
| 色あい | ○ | ○ | × |
| 色温度 | ○ | ○ | ○ |
| シャープネス | ○ | ○ | × |
| NR | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |
| MPEG NR | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |
| スムースグラデーション | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |

| 項目 | 入力信号 | | |
|---|---|---|---|
| | コンポーネント信号 | ビデオ GBR 信号 | コンピューター信号 |
| フィルムモード | ○（プリセットメモリーナンバー 14、20、93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 14、20、93 ～ 96 を除く） | × |
| 黒補正 | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |
| ガンマ補正 | ○ | ○ | ○ |
| カラーコレクション | ○ | ○ | ○ |
| クリアホワイト | ○ | ○ | ○ |
| x.v.Color | ○ | × | × |
| カラースペース | ○ | ○ | ○ |

○： 調整／設定できる項目　×： 調整／設定できない項目

## スクリーン設定メニュー

| 項目 | 入力信号 | | |
|---|---|---|---|
| | コンポーネント信号 | ビデオ GBR 信号 | コンピューター信号 |
| アスペクト *1 | ○（プリセットメモリーナンバー 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 96 を除く） | × |
| オーバースキャン | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | ○（プリセットメモリーナンバー 93 ～ 96 を除く） | × |
| フェーズ | × | × | ○ *2 |
| ピッチ | × | × | ○ *2 |
| シフト | ○ *2 | ○ *2 | ○ |

○： 調整／設定できる項目　×： 調整／設定できない項目

*1： 詳細は「アスペクトモード」の表を参照してください。（☞ 99 ページ）

*2： アナログ信号の場合のみ設定できます。

**ご注意**

HDMIなどのケーブルを接続した際、「ⓘ 情報メニュー」（☞ 67 ページ）およびデジタル信号（☞ 94 ページ）にて信号種類を確認して、調整／設定できる項目を確認してください。

## 対応 3D 信号一覧

本機は以下の 3D 信号に対応しています。

| 解像度 | 3D 信号のフォーマット |
|---|---|
| 720/60、50P | 左右分割方式 |
| | 上下分割方式 * |
| | フレームパッキング * |
| 1080/60、50i | 左右分割方式 * |
| 1080/24P | 上下分割方式 * |
| | フレームパッキング * |
| 1080/60、50P | 左右分割方式 |
| | 上下分割方式 |

*: HDMI 規格の 3D Mandatory フォーマット

## 3D 信号と調整／設定項目

3D 信号の種類によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目は、メニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

| 項目 | 3D 信号 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 720/60, 50P | 1080/60, 50i | 1080/24P | 1080/60, 50P |
| リアリティークリエーション | ○ | ○ | ○ | ○ |
| アドバンストアイリス | × | × | × | × |
| ランプコントロール | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フィルムプロジェクション | × | × | × | × |
| モーションエンハンサー | × | × | ○ | × |
| NR | × | × | × | × |
| MPEG NR | × | × | × | × |

| 項目 | 3D 信号 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 720/60, 50P | 1080/60, 50i | 1080/24P | 1080/60, 50P |
| スムースグラデーション | × | × | × | × |
| フィルムモード | × | × | × | × |
| x.v.Color | ○ | ○ | ○ | ○ |
| アスペクト | ○ | ○<br>（スクイーズ選択不可） | ○ | ○ |
| オーバースキャン | × | × | × | × |

○：調整／設定できる項目　　×：調整／設定できない項目

2D 映像を 3D で表示する場合、「機能設定」メニューの「3D フォーマット」の設定によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

| 項目 | 3D フォーマット | | |
|---|---|---|---|
| | 上下分割方式 | 左右分割方式 | シミュレーテッド 3D |
| リアリティークリエーション | ○ | ○ | ○ |
| アドバンストアイリス | × | × | × |
| ランプコントロール | ○ | ○ | ○ |
| フィルムプロジェクション | × | × | × |
| モーションエンハンサー | ○<br>（プリセットメモリーナンバー 14 のみ） | × | ○ |
| NR | × | × | ○ |
| MPEG NR | × | × | ○ |
| スムースグラデーション | × | × | ○ |
| フィルムモード | × | × | × |
| x.v.Color | ○ | ○ | ○ |
| アスペクト *[1] | ○ | ○ | ○ |
| オーバースキャン | × | × | × |

*[1]：詳細は「アスペクトモード」の表を参照してください。（☞ 99 ページ）

## アスペクトモード

入力される信号の解像度や 3D フォーマットによって、選択できない項目があります。詳しくは下の表をご覧ください。選択できない項目は、メニューに表示されません。

### 2D

| 対応解像度 | 4096 × 2160 | 3840 × 2160 | 1920 × 1080<br>1280 × 720 | 720 × 480<br>720 × 576 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| **プリセットメモリーナンバー（☞ 92 ページ）** | 96 | 93 ～ 95 | 7、8、<br>10 ～ 14 | 3 ～ 6 | 26、<br>28 ～ 35、<br>37 ～ 39、<br>55、56 |
| 1.85:1 ズーム | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 2.35:1 ズーム | × | × | ○ | ○ | × |
| ノーマル | ○ *1 | ○ | ○ | ○ | ○ *1 |
| ストレッチ | × | × | × | ○ | × |
| V ストレッチ | × | × | ○ | ○ | × |
| スクイーズ | × | × | ○ | ○ | × |

*1：ノーマル固定のためメニューには表示されません。

### 3D

| 対応解像度 | 1920 × 1080、1280 × 720 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **3D フォーマット** | **左右分割方式** | **上下分割方式** | **フレームパッキング** | **シミュレーテッド 3D** |
| **プリセットメモリーナンバー（☞ 92 ページ）** | 7、8、<br>10 ～ 13 | 10 ～ 14 | 18 ～ 20 | 18 ～ 20 |
| 1.85:1 ズーム | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2.35:1 ズーム | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ノーマル | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ストレッチ | × | × | × | × |
| V ストレッチ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スクイーズ | ○ *2 | ○ | ○ | ○ |

*2：スクイーズは、プリセットメモリーナンバー 7、8、12、13（☞ 92 ページ）入力時は選択できません。

## 調整／設定項目の保存条件

各調整／設定項目は、入力端子、またはプリセット信号ごとに個別に保存されます。詳しくは下の表をご覧ください。

### 入力ごとの対応プリセットメモリーナンバー

| 入力 | プリセットメモリーナンバー |
|---|---|
| 入力 A | 26、28 ～ 35、37 ～ 39、55、56 |
| コンポーネント | 3 ～ 8、10、11 |
| HDMI 1（2D） | 3 ～ 8、10 ～ 14、18 ～ 20、26、32、37、45、47、50、55、93 ～ 96 |
| HDMI 2（2D） | |
| HDMI 1（3D） | 7、8、10 ～ 14、18 ～ 20 |
| HDMI 2（3D） | |

### 画質設定メニュー

| 項目 | 保存条件 |
|---|---|
| ピクチャープリセット | 入力端子、かつプリセット信号ごと |
| 標準に戻す | 入力端子、かつピクチャープリセットごと |
| リアリティークリエーション | |
| アドバンストアイリス | |
| ランプコントロール | |
| フィルムプロジェクション | |
| モーションエンハンサー | |
| コントラスト | |
| 明るさ | |
| 色の濃さ | |
| 色あい | |
| 色温度 | |
| 　D93 ～ D55 | |
| 　カスタム 1 ～ 5 | |

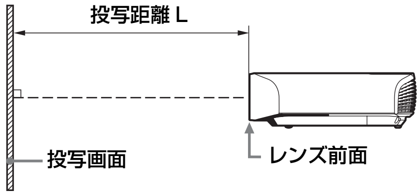
| 項目 | 保存条件 |
|---|---|
| ゲイン R | 色温度カスタム 1 ～ 5 ごと |
| ゲイン G | |
| ゲイン B | |
| バイアス R | |
| バイアス G | |
| バイアス B | |
| シャープネス | 入力端子、かつピクチャープリセットごと |
| NR | |
| MPEG NR | |
| スムースグラデーション | |
| フィルムモード | |
| 黒補正 | |
| ガンマ補正 | |
| カラーコレクション | |
| クリアホワイト | |
| x.v.Color | |
| カラースペース | |

## スクリーン設定メニュー

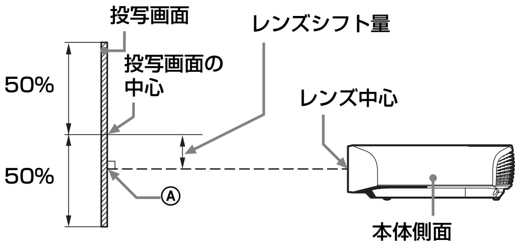
| 項目 | 保存条件 |
|---|---|
| アスペクト | ピクチャーポジション 1.85:1、2.35:1、カスタム 1 ～ 3 ごと |
| オーバースキャン | 入力端子、かつプリセット信号ごと |
| 入力信号調整：フェーズ（アナログコンピューター信号） | 入力端子、かつプリセット信号ごと |
| 入力信号調整：ピッチ（アナログコンピューター信号） | 入力端子、かつプリセット信号ごと |
| 入力信号調整：シフト（すべてのアナログ信号） | 入力端子、かつプリセット信号ごと |

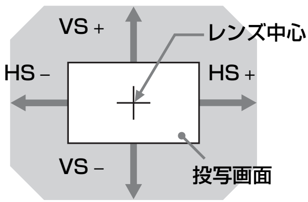
# 投写距離とレンズシフト量

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。

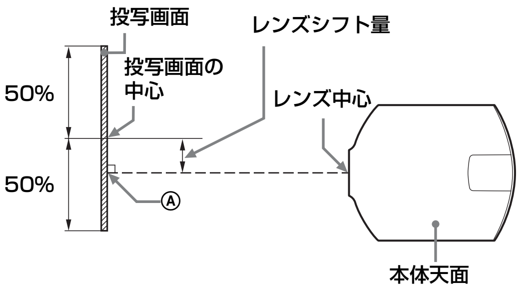



レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 Ⓐ）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を 100% とし、その距離をパーセントで表します。




網掛け：移動できる範囲



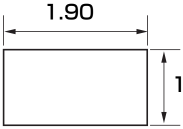

VS + ：垂直レンズシフト量（上）[%]

VS – ：垂直レンズシフト量（下）[%]

HS + ：水平レンズシフト量（右）[%]

HS – ：水平レンズシフト量（左）[%]

# 1.90:1（ネイティブフル表示 17:9）投影時




## 投写距離表

単位：m

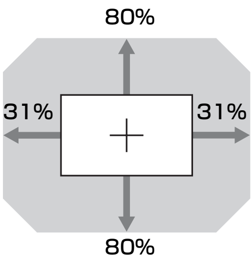
| 画面サイズ | | 投写距離 L |
|---|---|---|
| 対角 D | 横×縦 | |
| 80 型（2.03） | 1.80 × 0.95 | 2.23 － 4.90 |
| 100 型（2.54） | 2.25 × 1.18 | 2.81 － 6.14 |
| 120 型（3.05） | 2.70 × 1.42 | 3.39 － 7.38 |
| 150 型（3.81） | 3.37 × 1.78 | 4.25 － 9.25 |
| 200 型（5.08） | 4.49 × 2.37 | 5.70 － 12.36 |

## 投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）　単位：m

| 投写距離 L（最短） | 投写距離 L（最長） |
|---|---|
| L=0.028860 × D － 0.0800 | L=0.062212 × D － 0.0756 |

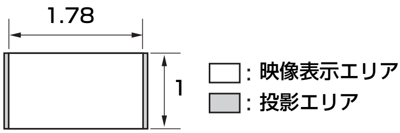
## レンズシフト量




VS ＋ =VS － =80 － 2.581 ×（HS ＋もしくは HS －）[%]

HS ＋ =HS － =31 － 0.388 ×（VS ＋もしくは VS －）[%]

## 1.78:1（16:9）投影時




### 投写距離表

単位：m

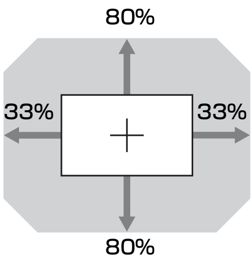
| 画面サイズ | | 投写距離 L |
| --- | --- | --- |
| 対角 D | 横×縦 | |
| 80 型（2.03） | 1.77 × 1.00 | 2.35 – 5.15 |
| 100 型（2.54） | 2.21 × 1.25 | 2.96 – 6.46 |
| 120 型（3.05） | 2.66 × 1.49 | 3.56 – 7.77 |
| 150 型（3.81） | 3.32 × 1.87 | 4.47 – 9.73 |
| 200 型（5.08） | 4.43 × 2.49 | 5.99 – 13.00 |

### 投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）　　単位：m

| 投写距離 L（最短） | 投写距離 L（最長） |
| --- | --- |
| L=0.030333 × D – 0.0800 | L=0.065387 × D – 0.0756 |

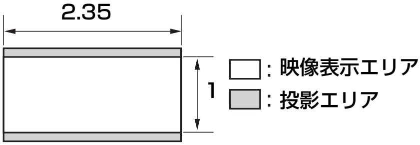
### レンズシフト量




VS + =VS – =80 – 2.424 ×（HS +もしくは HS –）[%]

HS + =HS – =33 – 0.413 ×（VS +もしくは VS –）[%]

## 2.35:1 投影時




### 投写距離表

単位：m

| 画面サイズ | | 投写距離 L |
|---|---|---|
| 対角 D | 横×縦 | |
| 80 型（2.03） | 1.87 × 0.80 | 2.33 – 5.10 |
| 100 型（2.54） | 2.34 × 0.99 | 2.93 – 6.39 |
| 120 型（3.05） | 2.80 × 1.19 | 3.53 – 7.69 |
| 150 型（3.81） | 3.51 × 1.49 | 4.43 – 9.63 |
| 200 型（5.08） | 4.67 × 1.99 | 5.93 – 12.86 |

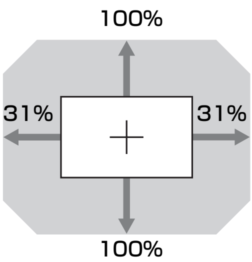
### 投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

| 投写距離 L（最短） | 投写距離 L（最長） |
|---|---|
| L=0.030024 × D – 0.0800 | L=0.064723 × D – 0.0756 |

### レンズシフト量



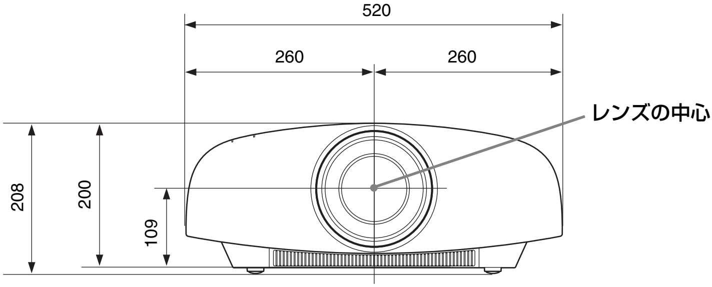

VS ＋ =VS － =100 － 3.226 ×（HS ＋もしくは HS －）[%]

HS ＋ =HS － =31 － 0.310 ×（VS ＋もしくは VS －）[%]

# 寸法図

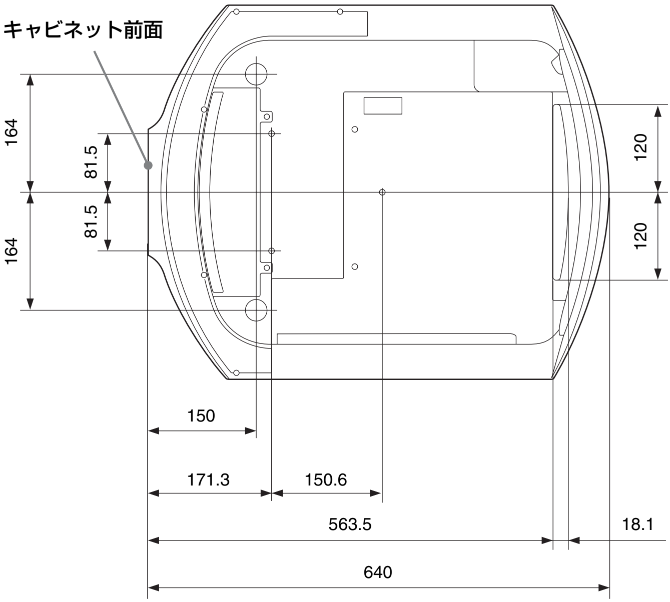
## 本体前面

単位：mm

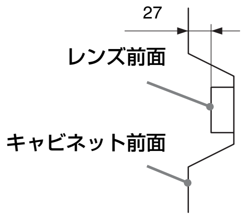



## 本体底面

単位：mm



### レンズ前面からキャビネット前面までの距離




## プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 を使用した場合

**⚠警告**

天井への取り付け、移動はご自身で行わないでください。
必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

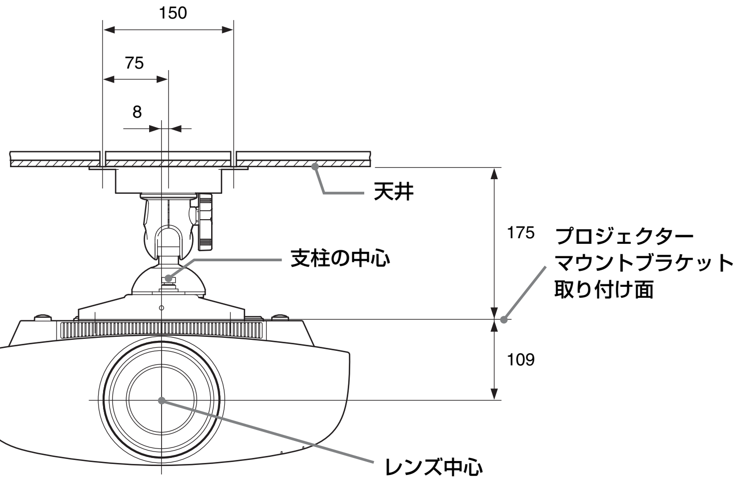
### 特約店様へ

天井に取り付ける際は、ソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 をご使用のうえ、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。

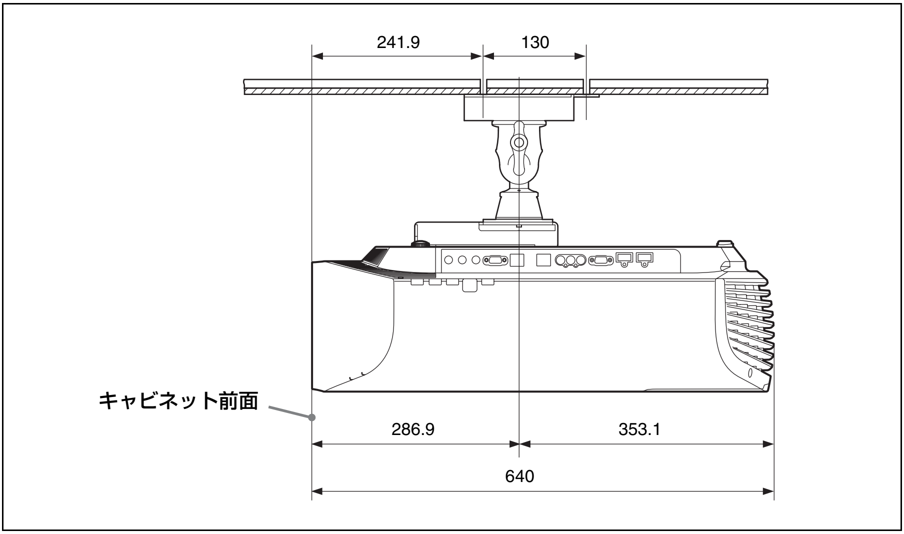
詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。

### 前から見た図

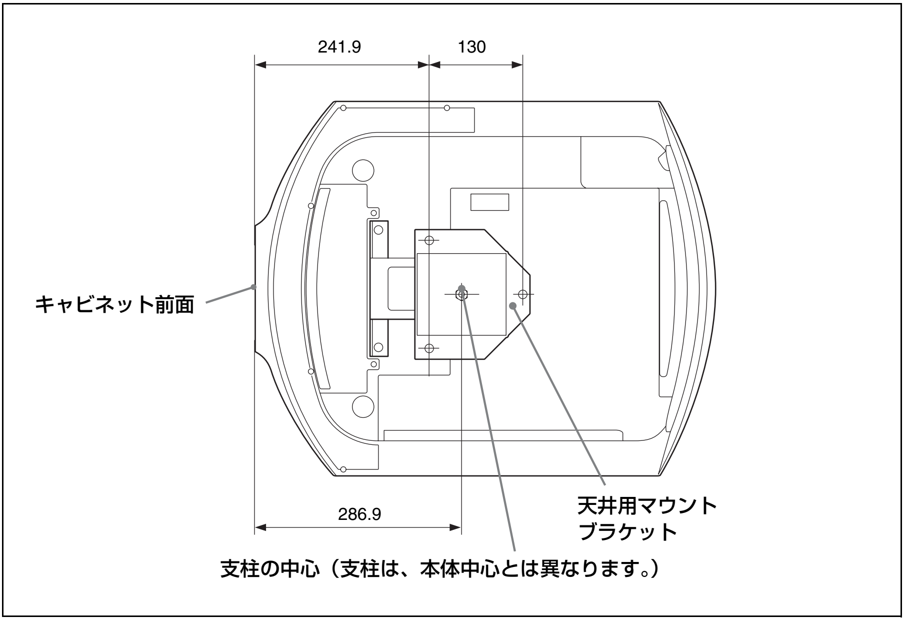
単位：mm



横から見た図　　単位：mm




上から見た図　　単位：mm



# 索引

## あ行



## か行



## さ行



## た行



## な行



## は行

## ま行



## ら行



## 数字



## アルファベット

### 商標について

「PS3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC 社の商標または登録商標です。

「ブルーレイ」、「ブルーレイディスク」は Blu-ray Disc Association の商標です。

---

HDMI 機器制御は、HDMI で規格化されている HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。
本機は、HDMI の DeepColor、x.v.Color、LipSync、コンピューター入力信号、3D 信号に対応しております。
また HDCP に対応しております。